TOSHIBA
Leading Innovation

gigashot

東芝ハードディスクカメラ
取扱説明書

形名　GSC-K80H / GSC-K40H

東芝ハードディスクカメラ **gigashot** を安全に、正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」および別紙の「安全上のご注意」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

Li-ion

リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力ください。

本製品は Exif Print に対応しています。Exif Print

本製品は PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III より前の対応プリンタでは、一部機能が反映できません。

はじめに

ご使用の前に

このたびは東芝ハードディスクカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、1.8 型 80GB/40GB ハードディスクと光学 10 倍ズームレンズを搭載し、MPEG-4 AVC/H.264 形式 (⇨138 ページ) のハイビジョン動画と 92 万画素の静止画を撮影できるカメラです。
お求めのハードディスクカメラを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
外観、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張、省略があり、実際とは多少異なる場合があります。
本書中では、動画撮影に有効な機能や設定には [動画] マーク、静止画撮影に有効な機能や設定には [静止画] マークをつけています。また、動画と静止画を合わせて「画像」と呼んでいます。

商標について

- gigashot は、株式会社東芝の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Pentium、Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標です。
- SDHC/SD ロゴは商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
-
- Nero Vision 5 および Nero AG が開発したその他のソフトウェア製品は Nero AG、その子会社および関連会社の登録商標です。
- Macintosh は米国 Apple Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、日本の情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

著作権・肖像権についてのご注意

あなたがハードディスクカメラで記録した画像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等すると、著作権・肖像権等の侵害となる場合がありますので、ご注意ください。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルなどの転送は、著作権法で許容された範囲内での使用に限られますので、ご注意ください。

ファームウェアのバージョンアップについて

出荷以降、より良くお使いいただくために、ファームウェア（カメラ本体の制御用プログラム）のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
東芝 gigashot ホームページ　http://www.gigashot.net/

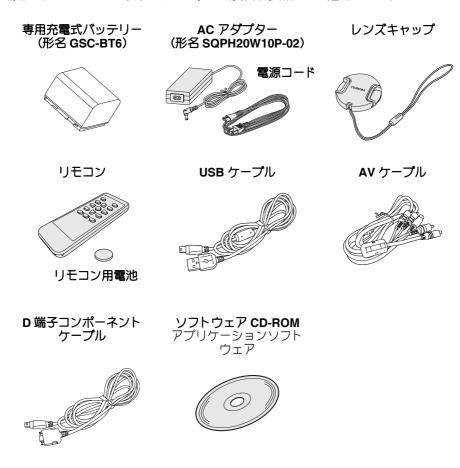
ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製したりすることはできません。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書は、1 台の機器について使用できます。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書によって機器を使用して、お客様または第三者に損害が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

カメラの廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

このカメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、内蔵ハードディスクドライブおよび SD メモリーカード内のデータは完全には消去されません。市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せる場合があります。そのため、カメラ本体または SD メモリーカードを譲渡／廃棄したあとで重要なデータが流出して、トラブルになる可能性があります。
これを回避するために、内蔵ハードディスクドライブまたは SD メモリーカードを物理的に破壊するか、市販のデータ消去ソフトなどを使って内蔵ハードディスクドライブまたは SD メモリーカード内のデータを完全に消去してから、譲渡／廃棄することをおすすめします。
内蔵ハードディスクドライブおよび SD メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。
※ パソコンと接続して、パソコンからカメラのハードディスクドライブや SD カードをフォーマットすることはできません。フォーマットするときはカメラ本体で行なってください (☞ 112 ページ)。

付属品

次の付属品がはいっていることをご確認ください。不足や品違い、破損などがあった場合は、モバイル **AV** サポートセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。

- 取扱説明書（本書）
- クイックヘルプガイド
- 安全上のご注意
- 保証書 **/** お客様登録のお願い

もくじ

再生の応用

消去の応用

カメラの基本設定

テレビと接続する

パソコンと接続する

付録

カメラの取扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（ ⇨ 別紙）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 高温または低温のところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ
- 直射日光のあたるところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- 振動の激しいところ

振動・衝撃を与えないようにしてください

強い振動を与えると故障の原因になるだけでなく、ハードディスクに保存したデータが消失することがあります。

砂がかからないようにしてください

砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
海辺や砂地、砂ぼこりがたつ場所などでは、特にご注意ください。

結露にご注意ください

カメラを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
その場合は電源を切り、1 時間ほどたってからお使いください。また、ＳＤ メモリーカードに水滴がついたときは、カメラから取り出し、水滴をふき取ったあとしばらくたってからお使いください。

お手入れするときは

- レンズ、液晶モニターの表面などは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形、塗料がはげるなどの原因となります。

磁気にご注意ください

- カメラのスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが破壊されて、使用できなくなる場合があります。
- 磁石やスピーカーなど、磁気を発するものにカメラを近づけないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

電磁波にご注意ください

電波塔や高圧線の近くでは使用しないでください。動画の画質や音質が悪くなる場合があります。

AC アダプターについて

必ず指定の AC アダプター（SQPH20W10P-02）をご使用ください。それ以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（ ➩ 別紙）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、AC アダプター本体の DC プラグを、カメラ本体の DC IN 10V 端子にしっかり差し込んでください。
- AC アダプターの電源プラグや DC プラグを抜くときは、カメラの電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- バッテリー動作中に AC アダプター本体の DC プラグを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- AC アダプターは室内専用です。
- AC アダプターはこのカメラ以外には使用しないでください。
- 使用中、AC アダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音がはいる場合がありますので、離してお使いください。
- カメラが動作中にバッテリーまたは AC アダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。そのときは、日時を設定し直してください。

仕様

AC アダプター（形名 SQPH20W10P-02）
電源　　　：AC100V ～ 240V 50/60Hz
定格出力　：DC10V 2.0A
使用温度　：0 ℃～ +40 ℃
保存温度　：-40 ℃～ +60 ℃
外形寸法　：49.5mm × 25.5mm × 99.5mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量　：約 200g

メモ

- 付属の電源コードは日本国内向け（AC100V ～ 125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードを使用してください。

バッテリーの取扱いについて

このカメラでは、専用の充電式リチウムイオンバッテリーを使用します。本書中では「バッテリー」と記述します。
ご使用の際は、「安全上のご注意」(別紙) および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。
＊バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。使用の前に必ず充電してください。

ご使用時には

- バッテリーはカメラを使用していなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（１日～２日前）にバッテリーを充電してください。
- バッテリーを長く持たせるためには、できるだけこまめにカメラの電源を切ることをおすすめします。
- 寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されたバッテリーを使用しても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れて暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- 端子部は常にきれいにしておいてください。
- 長時間、バッテリーを使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。
- バッテリーは消耗品です。常温（25 ℃）で使用した場合、約 300 回繰り返して使えますが、十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、専用の新しいバッテリーをお求めください。

バッテリーを使用しないときは

- しばらくバッテリーを使用しないときは、必ず本体からはずしてください。つけたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- 涼しいところに保管してください。周囲の温度が 15 ℃～ 25 ℃の乾燥したところをおすすめします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。

充電について

- 充電はカメラ本体または別売の充電器で行います。その他の充電器などでは絶対に充電しないでください。
- 初めて使用するときや長期間使用しなかったときは、使用の前に必ず充電してください。
- 充電するときは必ず指定の AC アダプター（SQPH20W10P-02）を使用してください。
- バッテリーを充電する前に、放電したり、使いきったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱くなることがありますが、異常ではありません。
- バッテリーの性能を十分に発揮させるために、約＋ 10 ℃～＋ 30 ℃の範囲で充電することをおすすめします。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

バッテリーの上手な使いかた

- カメラは電源が切れている状態でも微弱ながら電流を消費します。長時間使用しない場合はバッテリーを取りはずしておくことをおすすめします。約 48 時間程度取りはずしておくと、日付・時刻やその他の設定が初期設定に戻ることがあります。使用する前に再度設定してください。
- 寒冷地で使用するときは、カメラやバッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温のため低下したバッテリーの性能は、常温（約 25 ℃）に戻ると回復します。

仕様

リチウムイオンバッテリー（形名 GSC-BT6）

公称電圧	：7.2V
公称容量	：1200mAh
使用温度	：0 ～ +40 ℃
本体外形寸法	：37mm × 40mm × 25mm （幅×高さ×奥行き）
質量	：約 63g

バッテリーのリサイクルについて

不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼るかポリ袋に入れて、リサイクル協力店にあるリサイクル BOX に入れてください。

Li-ion

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご覧ください。
ホームページ：http://www.jbrc.com

内蔵のハードディスクドライブについて

このカメラにはハードディスクドライブが内蔵されています。ハードディスクドライブは、本書中では「HDD」と記述します。HDD は衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすい精密機器です。ご使用の際は、次の点にご注意ください。

- 動作中、または非動作時に振動、衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- HDD への書込み、読出し中は電源を切らないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- フォーマットする場合は、保存されている内容を確認してください。
  フォーマットをすると、HDD に保存されていた情報はすべて消失します。データの復帰はできません。
- HDD に保存しているデータは、万一故障したり、変化／消失したりした場合に備えて、こまめにパソコン、CD や DVD にバックアップを取って保存してください。
  HDD に保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。

HDD の使い方について

- HDD は定期的に、パソコン、CD、DVD などにファイルを保存し、フォーマットすることをおすすめします。
  HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合、ファイルの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
  このため内蔵 HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまで一度見るまでの、またはパソコンや HDD、CD、DVD などにコピーするまでの、一時的な保管場所として使用してください。
- HDD は、書き込みと削除を繰り返し行うと、HDD 内のファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなります。
  このような状態になると、1 つの空き領域にはいりきらないファイルは、ファイルを分割して 2 つ以上の空き領域に分けて保存されるようになります。
  ファイルの分割保存がふえると、通常の動作が遅くなるだけでなく、場合によっては画像を消去してもファイル保存に必要な空き領域を確保できなくなることがあります。
  このような場合には、ファイルをパソコンや HDD、CD、DVD などにコピーしたあとに内蔵 HDD をフォーマットしてください。
- HDD に記録できない、HDD の画像がひとつも再生できないなどの不具合が発生したときは、HDD をフォーマットしてください。
- フォーマットすると、HDD を初期状態に戻すことができます。このとき、HDD のすべてのファイルが消去されます。

SD メモリーカードについて

SDHC/SD メモリーカード（別売）は、本書中では「SD カード」と記述します。

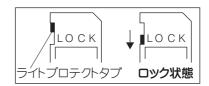
SD カードの取扱いについては、次の点にご注意ください。

ご使用上の注意

- SD カードは不揮発性の半導体メモリーを内蔵しています。通常の使用で記録したデータが破壊（消失）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊（消失）することがあります。記録されたデータの破壊（消失）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いません。
- SD カードはメモリーの一部を SD カードに基づくシステム領域として使用するため、使用できるメモリー容量は表示の容量より少なくなっています。
- SD カードをフォーマットする場合は、必ずこのカメラでフォーマットをしてください。他の機器（パソコンなど）でフォーマットをすると、データの書込み、または読出しができないなどの不具合が発生することがあります。
- たいせつなデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- SD カードには寿命があります。長期間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合は、新しい SD カードをお求めください。
- 小さいお子様の誤飲に気をつけてください。窒息の危険性があります。
- このカメラは、SD 規格 Ver.1.01 に準拠しています。

誤消去防止について

たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態（書込み禁止状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

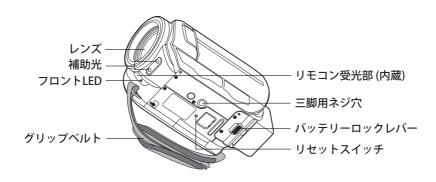
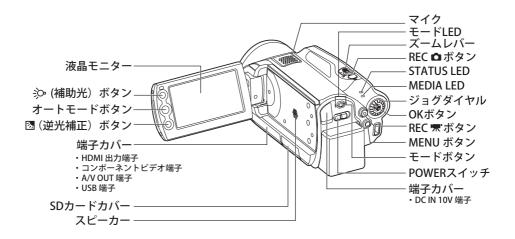
重要

- SD カードは Class4 または Class6 のものをご使用ください。ただし、使用状況によっては、途中で記録が停止することがあります。
- 市販されているすべての SD カードでの動作を保証するものではありません。

準備する

各部のなまえ

本体

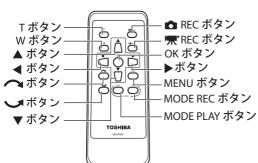
レンズ
補助光
フロントLED
グリップベルト
リモコン受光部 (内蔵)
三脚用ネジ穴
バッテリーロックレバー
リセットスイッチ

液晶モニター
(補助光) ボタン
オートモードボタン
(逆光補正) ボタン
端子カバー
・HDMI 出力端子
・コンポーネントビデオ端子
・A/V OUT 端子
・USB 端子
SDカードカバー
スピーカー
マイク
モードLED
ズームレバー
REC ボタン
STATUS LED
MEDIA LED
ジョグダイヤル
OKボタン
REC ボタン
MENU ボタン
モードボタン
POWERスイッチ
端子カバー
・DC IN 10V 端子

OK ボタンの操作

OK ボタンは垂直に押して選択されている項目を決定するほかに、上 (▲)、下 (▼)、左 (◀)、右 (▶) に動かすことが できます。
撮影モードで、フォーカス調整、シーン設定、明るさ設定およびメニューからアイテムを選択して、OK ボタンを押します。
OK ボタンを動かす方向を本書中では「▲ ▼ ▶ ◀」と記述します。

本体 LED

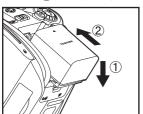
	モード LED	STATUS LED						MEDIA LED	フロント LED
色		緑		赤		オレンジ			
状態	点灯	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点灯
電源オフ時	–	充電完了	–	充電中	–	充電エラー	–	–	–
スタンバイ時	–	–	スタンバイ状態	–	–	–	–	–	–
撮影時	撮影モード	–	–	–	ハードウェア異常時	–	–	メディアアクセス時	録画時
再生時	再生モード	–	–	–	ハードウェア異常時	–	–	メディアアクセス時	–
USB モード時	–	マウント状態	–	–	ハードウェア異常時	–	ケーブル未接続	メディアアクセス時	–

リモコン

ボタン／レバー	
本体	**リモコン**
POWER	–
モードボタン	MODE REC
	MODE PLAY
REC	REC
REC 半押し	–
REC 全押し	REC
ズームレバー T 側	T
ズームレバー W 側	W
MENU	MENU
OK	OK
OK ボタン ▲	▲
OK ボタン ▼	▼
OK ボタン ◀	◀
OK ボタン ▶	▶
ジョグダイヤル左	
ジョグダイヤル右	

バッテリーを取り付ける・はずす

カメラの電源が切れていることを確認してください。

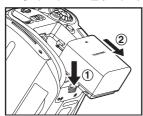
バッテリーを取り付ける

1 バッテリーでバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら ① 、取り付ける ②

バッテリーをしっかり奥まで押し込み、バッテリーがバッテリーロックレバーで固定されたことを確認してください。

重要

- 正常な終了動作をしていない状態でバッテリーを入れた場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。

バッテリーをはずす

1 バッテリーロックレバーを矢印の方向にスライドし① 、バッテリーをはずす②

バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し①、バッテリーをはずします②。

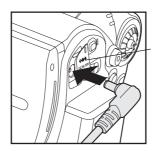
重要

- バッテリーをはずすときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源がはいった状態でバッテリーをはずすと、故障やたいせつなデータが破壊される原因となることがあります。また、カメラの設定内容が購入時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定をやり直してください。
- バッテリーをはずすときは、誤って本体やバッテリーを落下させないように気をつけてください。
- AC アダプターを接続していない状態でバッテリーロックレバーをスライドさせると、自動的に電源が切れます。

充電する

カメラを初めて使うときや、バッテリー残量が少なくなったときにバッテリーを充電します。
約 2 時間 30 分で充電が終わります。充電にかかる時間は、温度などの条件によって増減します。

カメラにバッテリーが取り付けられていること、カメラの電源が切れていることを確認してください。

カメラ本体で直接充電する

1 カメラ本体の端子カバーを開ける

2 電源コードと AC アダプターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

3 カメラ本体の DC IN 10V 端子と AC アダプターの DC プラグを接続する

バッテリーの充電が始まると、カメラ本体の STATUS LED が赤色に点灯します。
充電が終わると、カメラ本体の STATUS LED が緑色に点灯します。

重要

- 充電はカメラ本体または別売の充電器で行います。その他の充電器などでは絶対に充電しないでください。
- 充電中に異常が発生した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーを本体からはずしたら、モバイル AV サポートセンターにご連絡ください。バッテリーが高温になっていることがありますので、やけどにご注意ください。
- 炎天下など温度が高い状況で使用したときは、カメラが熱を持つため内部センサーが動作して、充電がすぐに始まらない場合があります。この場合はカメラの熱を十分に冷ましてから充電してください。

メモ

- バッテリーの性能を十分に発揮させるために、周囲温度が 10 ～ 30 ℃の環境で充電してください。

バッテリー残量表示

電源を入れると、液晶モニターにバッテリー残量が表示されます。

表示					
意味	充分残っています	少なくなっています	ほとんど残っていてません	充電してください	AC アダプターで動作中です

バッテリーでの使用時間について

バッテリーの保存期間、カメラやバッテリーの温度、撮影条件（ズーム使用の有無等）によって、バッテリーの消耗は大きく変動します。また、バッテリーの＋極、－極、および電極に接するカメラの端子がよごれていると、電流が流れにくくなり、カメラはバッテリー残量がないものと判断してしまいます。バッテリーを取り付けたりはずしたりするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。よごれていた場合は、乾いた布などでよごれをふき取ってください。
フル充電した新品のバッテリーでは、動画撮影時間は次のようになります。

動画連続撮影
　条件：温度 23 ℃、ズーム不使用での連続撮影
　撮影時間：約 90 分

動画実時間撮影
　条件：温度 23 ℃、電源オン・オフ、ズームを使用した状況での撮影
　撮影時間：約 60 分

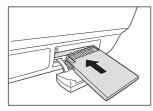
※ここに記載した動画撮影時間は参考値であり、これを保証するものではありません。

SD カードを入れる・取り出す

SD カード（別売）の抜き差しをする前に、カメラの電源を切ってください。

SD カードを入れる

1 **SD カードカバーを開きます**

2 **図のように正しい向きで、SD スロットに SD カードを入れる**

切欠き部分を左（レンズ側）に向け、カードをしっかりスロットの奥まで差し込みます。
SD カードがしっかり奥まで差し込まれていることを確認してから、SD カードカバーを閉じてください。
カメラで撮影した画像を SD カードに記録するには、撮影する前に、画像の記録先を SD カードに指定してください。
「SD カードを画像の保存場所に選ぶ」⇨ 58 ページ

SD カードを取り出す

1 **一度カードを押し込み、カードが少し出てきたら、ゆっくり引き抜く**

SD カードを取り出したら、SD カードカバーを閉じます。

重要

- MEDIA LED が赤点灯中は、絶対 SD カードを抜き差ししないでください。SD カードまたは SD カードのデータが破壊されることがあります。
- SD カードを初めて使うときや、他の機器で使った SD カードを使うときは、撮影する前に必ずこのカメラでフォーマットをしてください。
- このカメラは、MultiMediaCard™（マルチメディアカード）には対応していません。

電源を入れる・切る

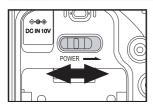
バッテリーを取り付ける、またはACアダプターを接続してください。
「バッテリーを取り付ける・はずす」➪ 19 ページ
「充電する」➪ 20 ページ

液晶モニターの開閉で電源を入れる・切る

液晶モニターを開くとカメラの電源がはいり、液晶モニターを閉じるとカメラの電源が切れます。
カメラを初めて使うときや、長時間バッテリーをはずしていたあとなどは、日時設定の画面が表示されます。
日時を設定してください。
「日付・時刻を合わせる」➪ 24 ページ

メモ

- ［液晶連動POWER］が［オフ］になっていると、液晶モニターを閉じて電源を切ることはできません。POWERスイッチをスライドして電源を切ってください。
- 液晶モニターを閉じているときの電源の状態は、モードLEDで確認してください。
  「液晶連動POWER」➪ 106 ページ
  「本体LED」➪ 17 ページ

POWERスイッチで電源を入れる・切る

POWERスイッチをスライドして、カメラの電源を入れたり切ったりします。

メモ

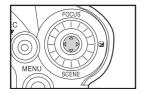
- 一定時間、カメラを操作しないと電池の消耗を防ぐために電源が切れます。このことをオートパワーオフ (➪ 105 ページ) といいます。
- 正常な終了動作をしないで電源を入れた場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。
- システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、底面のリセットスイッチを押します。このとき、作成中のデータは消失する可能性があります。また、日付・時刻やその他の設定が初期設定に戻ることがありますので、使用する前に再度設定してください。

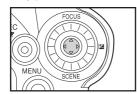
重要

- ACアダプターが接続されていない状態でバッテリーロックレバーをスライドさせると、自動的にカメラの電源が切れます。

日付・時刻を合わせる

カメラを初めて使うときや、バッテリーを取り出したまま放置したときは、自動的に日時設定の画面が表示されます。日付と時刻を設定してください。秒は設定できません。

1 OK ボタンを ◀ ▶ に動かして、設定する項目を選び、ジョグダイヤルで値を設定する

設定する項目を選択後、OK ボタンを ▲ ▼ に動かしても値を設定できます。

2 OK ボタンを ◀ ▶ に動かして、［決定］を選び、OK ボタンを押す

日時が設定されます。
カメラを初めて使うときは、アルバム作成画面に切り換わります。
アルバムを作成してください。
「アルバムを作成する」⇨ 25 ページ
アルバムが作成されているときは、撮影モードに切り換わります。
日時設定を中止する場合は、［キャンセル］を選び、OK ボタンを押します。

メモ

- 表示される年月日の順番は、選んだ書式によって変わります。書式は［YYYY.MM.DD］、［DD/MM/YYYY］、［MM/DD/YYYY］の 3 種類です。
- セットアップメニューから［日時設定］を選んだときは、日時設定を終了すると、セットアップメニューに戻ります。

アルバムを作成する

カメラを初めて使うときや、HDD をフォーマット (112 ページ) したときなど、ドライブの中にアルバムがないときに、自動的にアルバム作成の画面が表示されます。

1 ジョグダイヤルでアルバムの種類を選ぶ

2 OK ボタンを押す

アルバムが作成され、撮影モードに切り換わります。

メモ

- SD カードにはアルバムの種類は設定できません。

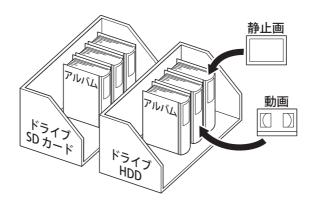
アルバムの種類 *

アルバムには次の種類があります。

アイコン	名前	アイコン	名前	アイコン	名前	アイコン	名前
	ART (アート)		MAIL (メール)		GIFT (ギフト)		TRASH (がらくた)
	DRIVE (ドライブ)		PARTY (パーティー)		TRAVEL (旅行)		MUSIC (ミュージック)
	SPORTS (スポーツ)		BEACH (ビーチ)		LANDSCAPE (風景)		BUSINESS (ビジネス)
	MEMO (メモ)		PC (パソコン)		BIRTHDAY (誕生日)		WEDDING (結婚)
	CEREMONY (セレモニー)		BABY (赤ちゃん)		KIDS (子供)		FAMILY1 (家族 1)
	FAMILY2 (家族 2)		FAMILY3 (家族 3)		PET (ペット)		SPRING (春)
	SUMMER (夏)		AUTUMN (秋)		WINTER (冬)		HAPPY (うれしい)
	SAD (悲しい)		LOVE (ラヴ)		LUCKY (ラッキー)		PARK (遊園地)

* アルバムの種類は、予告なく追加または削除する場合があります。

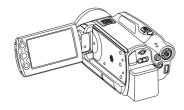
アルバムとドライブについて

アルバムは、撮影した画像を保存するために必要なものです。撮影する日時や場面（旅行やペットなど）に応じて種類を選ぶことができます。
ドライブは、アルバムをしまっておく場所を指します。
このカメラでは、HDD と SD カードの 2ヶ所です。

液晶モニターの使い方

目的に応じて、さまざまなポジションで使うことができます。

オフポジション

- カメラの電源を切っているとき
- 撮影の待機をしているとき
- カメラを充電しているとき

ノーマルポジション

- 撮影・再生するとき

自分撮りポジション *

- 液晶モニターを見ながら自分を撮影したいとき

 * 自分撮りポジションでは、液晶モニターに表示される画像は鏡のように左右が逆になりますが、記録される画像は、実際の被写体と同じです。

ビューワーポジション

- 再生するとき

リモコンについて

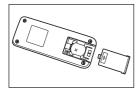
リモコンを使うと、離れた場所から撮影・再生の操作ができます。

使用できる範囲

リモコンは、次の範囲で使用できます。
・距離：カメラから約 4 m 以内
・角度：カメラのリモコン受光部に対し、上下左右約 20 度以内

リモコンの操作範囲は室内で使うときの値です。屋外やリモコン受光部に強い光があたっているときは、上記範囲内であっても操作できない場合があります。

重要

- 落とす、激しく振るなどの強い衝撃をあたえないでください。
- 水をこぼさないでください。
- 分解しないでください。
- 高温多湿の場所に置かないでください。

電池を入れる

電池は、付属のコイン形リチウム電池 CR2025 を使います。
リモコン背面下部の電池カバーをスライドして開きます。
（＋）を上向きにして電池を入れ、電池カバーを閉めます。

メモ

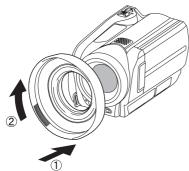
- リモコンの反応がにぶくなったり、反応しなくなったりした場合は、電池を交換してください。
- 使用期限を過ぎた電池は使用しないでください。
- リモコンの電池は充電できません。
- 電池が液もれした場合は、新しい電池と交換する前に、リモコンについた液を完全にふき取ってください。

重要

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池の（＋）と（－）を逆向きに挿入しないでください。
- 電池を充電・加熱・分解したり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。
- 使い切った電池をリモコンの中に入れたままにしないでください。
- 電池は幼児や小さな子供の手の届く場所に置かないでください。

コンバージョンレンズやレンズフードを使う

コンバージョンレンズ (別売) とは、レンズの前に取り付けて、より望遠、より広角で撮影したいときなど、撮影できる範囲を変化させたいときに使用します。
レンズフード (市販品) とは、太陽の光が直接レンズに当たるのを防ぐためのカバーです。逆光撮影のときに使用します。どちらも市販のものをお求めください。

1 レンズに、市販のレンズフードを図のように取り付ける

メモ

- レンズに直接コンバージョンレンズやレンズフードを取り付ける場合、ネジ切りの径は 43mm のものを使用してください。
- コンバージョンレンズやレンズフードを付けているときは、AF 補助光がコンバージョンレンズやレンズフードにさえぎられます。
- コンバージョンレンズやレンズフードを付けているときは、リモコンが正しく動作しない場合があります。
- コンバージョンレンズを付けているときは、[手ぶれ補正] は [オフ] にしてください。
- コンバージョンレンズを付けているときは、オートフォーカスが利きにくくなったり、撮影範囲や (⇨ 48 ページ) マニュアルフォーカスの距離表示が異なる場合があります。
- コンバージョンレンズやレンズフードを付けているときは、ズームの位置によって四隅が暗くなったり、レンズフードが写りこんだりする場合があります。

やりたいことから探せるカンタンガイド

動画の不要な部分を削除したい

動画を編集する
93 ページ

動画撮影で風切り音を低減したい

風音低減
64 ページ

動画をできるだけ長く撮影したい

動画の画質を設定する
60 ページ

撮影した画像をTV で見たい

テレビと接続する
115 ページ

撮影した画像を一覧表示したい

画像を一覧表示する
76 ページ

夜景を撮影したい

撮影シーンを設定する
46 ページ

見た目と撮影する画像の色を合わせたい

自然な色合いで撮影する
61 ページ

セピア・モノクロで撮影したい

画像のカラーを変更する
70 ページ

ズームを使って被写体を際立たせたい

ズームを使って撮影する
38 ページ

画像を一度に消去したい

消去の応用
95 ページ

撮影した画像を自動再生したい

オートプレイを設定・実行する
84 ページ

画像を HDD からSD カードに移したい

画像をコピーする
89 ページ

カメラから直接プリンターで印刷したい

カメラから直接プリントする
91 ページ

…動画でできること

…静止画でできること

とにかく撮って見る

撮影の前に
動画を撮影する
静止画を撮影する
ズームを使って撮影する
再生する
画像を消去する（1 画像消去）

撮影の前に

構えかた

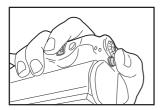
撮影するときはカメラをしっかり持ち、レンズに指がかからないように構えてください。
動画撮影中にカメラを動かす場合は、急激に動かさないようにします。
例えば、カメラを左右に動かすときは、カメラが上下にぶれないように手首を固定して、体をゆっくり回しながら撮影します。

良い例（片手）

良い例（両手）

片手で持つときは、カメラ本体をグリップベルトで固定し、脇をしっかりしめて持ってください。
さらに、左手で液晶モニター部分を支えると、安定します。

グリップベルトを調節する

グリップベルトを調整して、カメラをしっかり固定することができます。

グリップベルトのマジックテープをはずし、右手で本体を持ち、親指を REC 🎥 ボタン、人差し指をズームレバーに置いた状態でベルトの長さを調整してください。
調整後、しっかりとマジックテープで固定してください。

撮影モード時の液晶モニター表示（標準表示）

撮影モード時の液晶モニター表示（詳細表示）

標準表示と詳細表示は、OK ボタンで切り換えます。

* 設定がオート（シーン、ホワイトバランス）、オートフォーカス（フォーカス）、± 0（明るさ補正）、オフ（風音低減、手ぶれ補正、逆光補正）、1 ショット（連写）、調整（ズームバー）以外に設定されているときに表示されるアイコン。

メモ

- 標準表示ではズームバーアイコンは調整完了後に非表示になります。

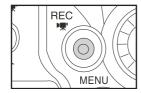
動画を撮影する

動画を撮影します。音声も録音します。

バッテリーがカメラにはいっていること、レンズキャップがはずれていることを確認し、液晶モニターを開いて電源を入れてください。
落下防止のため、グリップベルトを使用してください。

1 モードボタンを押して、撮影モードにします

動画撮影時は アイコンが画面左上に表示されます。
液晶モニターが明るすぎる、または暗すぎるときは、明るさを調整してください。
「液晶の明るさを変更する」 73 ページ

2 REC ボタンを押す

動画の撮影がはじまります。もう一度 REC ボタンを押すと、動画撮影が終了します。
動画撮影中は、フロント LED が点灯します。

重要

- カメラの動作中に、AC アダプターの抜き差し、バッテリーロックレバーの操作、バッテリーや SD カードの取り出しはしないでください。カメラが故障したり、HDD や SD カードおよびその中のデータが破壊される場合があります。
- このカメラで長時間撮影する場合に、特に高温環境ではカメラが熱くなることがありますので、低温やけどにご注意ください。長時間撮影する場合は、三脚の使用をおすすめします。

メモ

- 液晶モニターを自分撮りポジションにすると、画像が鏡のように左右が逆になります。ただし、ボタンやキーを操作すると一時的に通常表示に戻ります。
- 動画撮影では、静止画撮影より電池の消耗が早くなることがあります。
- オートフォーカスやマニュアルフォーカスで動画撮影するとき、フォーカスを合わせるときのレンズ動作音が記録されることがあります。
「フォーカスを設定する」 48 ページ
- ズームレバー操作中のレンズ動作音が記録されることがあります。

動画撮影時のボタン操作

状態 / ボタン・レバー	撮影中
REC 🎥	撮影終了
OK	–
OK ボタン ▲	マニュアルフォーカス
OK ボタン ▼	–
OK ボタン ◀	–
OK ボタン ▶	明るさ設定
ズームレバー T 側	ズーム望遠
ズームレバー W 側	ズーム広角
MENU	液晶の明るさ変更オン／オフ *
補助光	補助光オン／オフ
AUTO	–
逆光補正	逆光補正オン／オフ

* 動画撮影中の液晶の明るさ変更は、「液晶の明るさを変更する」(⇨ 73 ページ) を参照してください。

動画撮影中の液晶モニター表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

* ズーム設定調整時に表示されるアイコンは、設定が終わり次第、非表示になります。

とにかく撮って見る

静止画を撮影する

撮影状況に応じて、自動的に露出（シャッター速度と絞りの組合せ）を制御するので、簡単に撮影できます。

1 モードボタンを押して、撮影モードにします

2 液晶モニターを見ながら構図を決める

液晶モニターが明るすぎる、または暗すぎるときは、明るさを調整してください。
「液晶の明るさを変更する」➡ 73 ページ

3 REC 📷 ボタンを半押し ① 、全押し ② する

半押しで自動的にピントと露出を合わせます。このとき、シャッター速度、絞りが表示されます。そのまま全押しすると撮影されます。全押しするときにカメラが動くと、ぶれた画像が撮影されますので、ご注意ください。

メモ

- REC 📷 ボタンを半押ししてから、ピントが合うまでの間、液晶モニターの画像が暗くなる場合があります。
- 被写体が暗い場合、REC 📷 ボタン半押しでピント合わせの補助光を点灯させることができます。
  「AF 補助光を使って撮影する」➡ 69 ページ
- 補助光ボタンを押すと、補助光を常に点灯させることができます。
  「補助光を使って撮影する」➡ 53 ページ

ピントを合わせる

ピントは、REC 📷 ボタン半押しで表示されるフォーカスエリア枠の色で判断します。ピントが合っているときは緑色、ピントが合っていないときは赤色で表示されます。露出が合っていないときは、シャッター速度、絞りが赤色で表示されます。

ピントが合いにくいときは

- ［AF 測距点］を［中央］に設定 (➡ 68 ページ) します。
  次に、画面の中央に目的の被写体が映るようにカメラを移動し、REC 📷 ボタン半押しでピントを合わせた状態のまま、構図を戻して REC 📷 ボタンを全押し（撮影）します。

- このカメラは、以下のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。
  - 被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
  - 鏡、車のボディーなど光沢があるもの
  - 髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
  - コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同色の服を着ている人物など）
  - 高速で移動する被写体
  - 煙や炎などの実体のないもの
  - ガラス越しの被写体
  - 被写体が遠くて小さいとき
  - 極端に明るいもの（ライトなど）
  - 暗いところ

ズームを使って撮影する

被写体との距離に応じて、10 倍光学ズーム、3 倍デジタルズームを使って、最大 30 倍までのズーム撮影ができます。

ポイント

- 光学ズームで望遠にすると、背景をぼかして撮影することができます。

気をつけよう

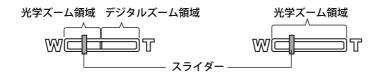
- 望遠にすればするほど、手ぶれしやすくなります。

1 モードボタンを押して、撮影モードにします

2 ズームレバーでズームの度合いを調整し、構図を決めて撮影する

T 側にスライドすると望遠になり、遠くにあるものを大きく撮影できます。
W 側にスライドすると広角になり、広い範囲を撮影できます。

ズームバーの表示

ズームバーの状態は液晶モニターで確認できます

<デジタルズームがオンのとき>　　<デジタルズームがオフのとき>

メモ

- デジタルズームは、撮影メニューで 30 倍／オフを設定できます。「デジタルズーム」➪ 66 ページ
- 電源を切るか、オートパワーオフが働くと、ズームの倍率は広角側いっぱいに戻ります。

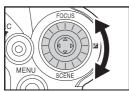
再生する

液晶モニターを開いて、電源を入れてください。

静止画を再生する

1 モードボタンを押して、再生モードにします

最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。
液晶モニターが明るすぎるとき、または暗すぎるときは、明るさを調整してください。
「液晶の明るさを変更する」➡ 73 ページ

2 ジョグダイヤルで再生したい静止画を選ぶ

静止画再生時の液晶モニター表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

* プロテクト (➡ 86 ページ) された画像に表示されます。

とにかく撮って見る

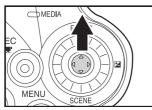
動画を再生する

1 モードボタンを押して、再生モードにします

最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。
液晶モニターが明るすぎるとき、または暗すぎるときは、明るさを調整してください。
「液晶の明るさを変更する」➪ 73 ページ

2 ジョグダイヤルで再生する動画を選ぶ

動画アイコン

動画には、動画アイコンと、液晶モニターの上下にフィルムの絵が表示されています。

3 OK ボタンを ▲ に動かす

選んだ動画が再生されます。
動画の再生を停止するには、OK ボタンを▼に動かします。
動画の再生を一時停止するには、OK ボタンを▲に動かします。
スピーカーの音量を調整するには、ズームレバーを使います。
T 側 : 音量が大きくなる
W 側 : 音量が小さくなる

動画再生時のボタン操作

状態 ボタン・レバー	停止中	再生中	一時停止中	早送り中	早戻し中
OK	表示切換				
OK ボタン ▲	再生	一時停止	再生		
OK ボタン ▼	再生方法選択	停止			
OK ボタン ◀	前の画像	ワンタッチリプレイ		–	
OK ボタン ▶	次の画像	ワンタッチスキップ		–	
ジョグダイヤル左	前の画像	早戻し	コマ戻し	再生	さらに早戻し
ジョグダイヤル右	次の画像	早送り	コマ送り	さらに早送り	再生
ズームレバー T 側	–	音量アップ			
ズームレバー W 側	サムネイル表示	音量ダウン			

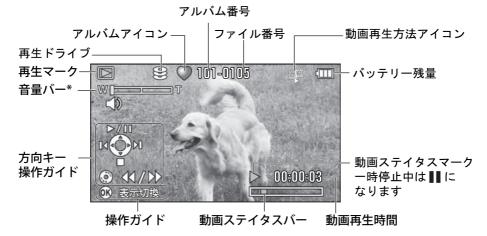
ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイ

動画をスキップ再生することができます。スキップする時間は、動画の長さによって異なります。

1 動画再生中または一時停止中に OK ボタンを ▶ または ◀ に動かす

▶ に動かすとワンタッチスキップ（後ろに一定時間スキップ）、◀ に動かすとワンタッチリプレイ（前に一定時間スキップ）になります。

動画再生時の液晶モニター表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

* 音量変更時に表示されます。

メモ

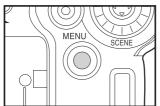
- 音量バーアイコンは調整完了後に非表示になります。
- アルバムが複数あっても、OK ボタンの ◀ ▶ 、またはジョグダイヤルで全アルバムの画像を再生できます。
- 最後の画像が表示されている状態で OK ボタンを ▶ に動かす、またはジョグダイヤルを右に回すと最初の画像が表示されます。最初の画像が表示されている状態で OK ボタンを ◀ に動かす、またはジョグダイヤルを左に回すと最後の画像が表示されます。

画像を消去する（1 画像消去）

画像をひとつずつ消去します。ただし、保護（プロテクト）されている画像 (➪ 86 ページ)、ロック状態 (➪ 14 ページ) になっている SD カード内の画像は消去できません。

気をつけよう

• 一度消去した画像は元に戻せません。

1 MENU ボタンを押す

オートモードでは、メニューボタンは動作しません。オートモードを解除するか、再生モードからメニューを表示してください。

2 ジョグダイヤルで［消去］を選び、OK ボタンを押す

3 ［1 画像消去］を選び、OK ボタンを押す

4 ジョグダイヤルで消去したい画像を選ぶ

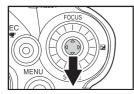
5 OK ボタンを ▲ に動かして［はい］を選び、OK ボタンを押す

画像が消去され、次の画像が表示されます。
選んだ画像を消去しないときや 1 画像消去を終了するときは、［いいえ］を選び、OK ボタンを押します。
プロテクトされた画像は消去できません。［いいえ］を選び、OK ボタンを押してください。

撮影の応用

撮影シーンを設定する

撮影場面や目的に合ったシャッター速度や絞りをカメラが自動で調整します。
電源を切ったり、オートパワーオフが働いたりしても、設定内容は保持されます。

1 撮影モードにし、OK ボタンを ▼ へ動かす

シーンアイコンが一覧表示されます。

2 ジョグダイヤルで希望のシーンアイコンを選び、OK ボタンを押す

[ステージ] を選んだ場合は、[ズームの広角端を指定する] に進んでください。
その他のシーンを選ぶと、カメラは撮影モードに戻ります。

シーン設定

シーン		撮影場面
AUTO	オート	–
	人物／ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立てたいとき
	風景	遠くの景色、風景など
	スポーツ	スポーツなど、動きの早いものが被写体のとき
	夜景	花火・夜景など、背景が暗いとき
	スノー & ビーチ	スキー場や海辺など、まぶしいとき
	ステージ	舞台など、一定の範囲を撮影したいとき
	夕焼け	夕暮れ、夕焼けなど

メモ

- オートモード時のシーン設定は [AUTO] です。
- 動画撮影中は、シーン設定できません。
- 各シーンの説明は一般的な目安です。お好みに合わせて設定してください。

ズームの広角端を指定する

シーンに［ステージ］を設定すると、ズームの広角側いっぱいの位置を指定し、それ以上広角側へズームしないように制限することができます。
子供の学芸会など、客席から舞台を撮影するときに便利です。

望遠で人を撮影していて

ズームを広角にしていくと

設定した位置で止まる

1 シーン設定で［ステージ］を選ぶ

2 ［新規作成］を選ぶ

OK ボタンを▼へ動かして［新規作成］を選び、OK ボタンを押します。
［既存のデータを使用する］を選ぶと、登録済みのデータを読み込みます。

3 ズームの広角端を指定する

ロックマーク

液晶モニターを見ながらズームレバーを動かして広角端の位置を決め、OK ボタンを押します。
指定した位置にロックマーク が表示されます。

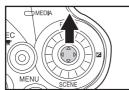
メモ

- 広角端を指定できるのは光学ズームの範囲内だけです。デジタルズーム領域（38 ページ）には指定できません。

撮影の応用

フォーカスを設定する

撮影する被写体との距離に合わせてフォーカスを設定します。
電源を切ったり、オートパワーオフが働いたりしても、設定内容は保持されます。

1 撮影モードにし、OK ボタンを ▲ へ動かす

OK ボタンを ▲ に動かすたびに、フォーカスモードは [AF] と [MF] に切り換わります。

フォーカス設定による撮影範囲

フォーカス		被写体との距離
AF	オートフォーカス	ズーム W 側：約 10 cm ~ ∞ ズーム T 側：約 1.0 m ~ ∞
MF	マニュアルフォーカス	ズーム W 側：約 10 cm ~ ∞ ズーム T 側：約 1.0 m ~ ∞

メモ
- オートモード時のフォーカス設定は [AF] です。

マニュアルフォーカス

手動でフォーカスを合わせることができます。

ポイント

- フォーカスを一定の場所に固定できるため、被写体が動いているときや暗い場所、逆光時など、ピントが合わせづらいときに便利です。

1 フォーカス設定 (⇨ 48 ページ) で [MF] を選ぶ

画面におよその距離が表示されます。

2 ジョグダイヤルでフォーカスを合わせる

フォーカスが固定されます。フォーカスを合わせなおすときは、ジョグダイヤルを使います。

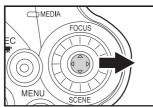
メモ

- ズーム W 側では 0.1m より近い距離のとき、画面の距離の表示は になります。 が表示される距離は、ズーム位置によって変わります。

撮影の応用

明るさを調整する

被写体と背景の明るさの差（コントラスト）が大きいときや、被写体が画面内で極端に小さいときに、適正な明るさ（露出）が得られるように明るさを調整することができます。明るさの値は -6.0 から +6.0 までで、1/3EV 単位の設定ができます。

1 撮影モードにし、OK ボタンを ▶ へ動かす

明るさのアイコンと明るさ設定値が表示されます。

2 ジョグダイヤルで明るさの値を設定し、OK ボタンを押す

設定する値が大きいほど明るく、小さいほど暗くなります。

効果のある被写体

＋（プラス）補正
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の場合
- 逆光の場合
- スキー場などの明るい場面や反射が強い場合
- 画面内の大部分を空が占める場合

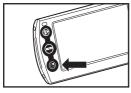
－（マイナス）補正
- スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の場合
- 常緑樹、または色の濃い葉など反射率

メモ

- オートモードでは明るさの設定はできません。
- 動画撮影中でも明るさの設定ができます。

逆光補正をする

光源に向かっての撮影など、レンズに多くの光がはいってしまう状況では被写体が暗くなることがあります。逆光補正とは被写体が明るく写るように調整するためのもので、明るさ補正の一種です。
電源を切ったり、オートパワーオフが働くと、設定内容はオフになります。

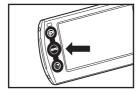
1 撮影モードにし、ボタンを押す

逆光補正がオンになり、逆光補正アイコンが表示されます。

メモ

- オートモードでは逆光補正はできません。
- 動画撮影中でも設定できます。
- 逆光補正を設定していても、OK ボタンを ▶ に動かすと明るさ補正に切り換わります。
- 明るさ補正が設定されている状態で ボタンを押すと、「明るさ」＋「逆光補正」の状態になります。

オートモードを使う

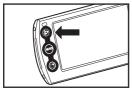
設定を自動的に調整して簡単に撮影を行うことができます。また、操作できるボタンを限定して、誤操作を防止できます。

1 カメラを撮影モードに設定し、AUTO ボタンを押す

オートモードになり、オートモードアイコンが表示されます。

- オートモードに設定した後に、通常の撮影モードに戻るためには、もう一度 AUTO ボタンを押す必要があります。モードボタンを押しても通常の撮影モードには戻りません。
- オートモードに設定されている場合、動画クオリティ、ファイル保存先のみが保持されます。その他の設定は自動的に調整されます。
- オートモードで操作できるのは、AUTO ボタン、REC ボタン、REC ボタン、ズームレバー、電源スイッチ、モードボタンのみです。その他のボタンは使用できず、押すと、[オートモードでは操作できません] メッセージが表示されます。
- オートモードでは、AUTO ボタン、REC ボタン LED、ズームレバー LED が青点灯します。

補助光を使って撮影する

暗い場所などで撮影するときに使うと、被写体にピントが合わせやすくなります。
モードの変更や電源を切ったり、オートパワーオフが働くと、補助光はオフになります。

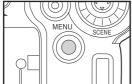
1 撮影モードにし、☼ ボタンを押す

本体前面の補助光が点灯し、画面に補助光アイコンが表示されます。

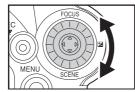
メモ

- オートモードでは補助光は点灯しません。
- ☼ ボタンを押すごとにオン／オフが切り換わります。
- 撮影メニューの［AF 補助光］を［オン］に設定しておくと、被写体が暗いときは REC 📷 ボタンの半押しでピントを合わせるときに補助光を点灯させることができます。

撮影メニューの設定を変更する

撮影メニューの設定を変更します。
電源を切ったり、オートパワーオフが働いたりしても、内容は保持されます。

1 撮影モードで MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルでメニュー項目を選び、OK ボタンを押す

選んだメニュー項目の設定項目が表示されます。

3 ジョグダイヤルで目的の設定項目を選び、OK ボタンを押す

選んだ設定項目がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

4 撮影に戻るときは、MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ

- オートモードではメニューボタンは使えません。

撮影メニュー設定時のボタン操作

ボタン・レバー ＼ 画面	メニュー項目表示時	設定項目表示時
OK	選択されている項目に決定	
OK ボタン ▲	メニュー項目の選択	設定項目の選択
OK ボタン ▼	メニュー項目の選択	設定項目の選択
OK ボタン ▶	選択されている項目に決定	–
OK ボタン ◀	–	前の画面に戻る
ジョグダイヤル右	メニュー項目の選択	設定項目の選択
ジョグダイヤル左	メニュー項目の選択	設定項目の選択
MENU	撮影の状態に戻る	メニューに戻る
モードボタン	撮影の状態に戻る	

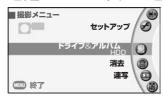
撮影メニュー

メニュー名	概要	撮影モード	参照
ドライブ＆アルバム	ドライブの選択とアルバムの選択・作成	🎥 📷	56
消去	画像の消去	–	95
連写	連続撮影の設定	📷	59
動画クオリティ	動画の画質設定	🎥	60
ホワイトバランス	ホワイトバランスの設定	🎥 📷	61
手ぶれ補正	手ぶれ補正のオン／オフの設定	🎥	63
風音低減	風音低減のオン／オフの設定	🎥	64
マイク感度	マイク感度の設定	🎥	65
デジタルズーム	デジタルズームの倍率やオン／オフの設定	🎥 📷	66
測光方式	露出を計算するための測光方式の設定	🎥 📷	67
AF 測距点	フォーカスを合わせる領域の設定	🎥 📷	68
AF 補助光	被写体が暗いときフォーカスを合わせるための補助光点灯のオン／オフ	📷	69
カラー	画像の色調の設定	🎥 📷	70
コントラスト	画像の明暗差の設定	🎥 📷	71
シャープネス	画像のタッチの設定	🎥 📷	72
液晶の明るさ	液晶の明るさの設定	–	73
セットアップ	セットアップメニューの表示	–	101

アルバムを作る・選ぶ

撮影日や撮影場所別など、目的に合わせて画像の保存・整理ができます。

HDD にアルバムを作る

1 **撮影メニューからジョグダイヤルで［ドライブ & アルバム］を選び、OK ボタンを押す**

2 **ジョグダイヤルで［HDD］を選び、OK ボタンを押す**

3 **OK ボタンを ▼ に動かして［新規作成］を選び、OK ボタンを押す**

4 **ジョグダイヤルでアルバムの種類を選び、OK ボタンを押す**

新しく作成したアルバムが画像の保存場所としてセットされ、撮影できる状態になります。
アルバムの種類には「ART（アート）」、「KIDS（子供）」などがあります。
「アルバムを作成する」➡ 25 ページ

HDD にあるアルバムの種類を変更する

1 **撮影メニューからジョグダイヤルで［ドライブ & アルバム］を選び、OK ボタンを押す**

2 **ジョグダイヤルで［HDD］を選び、OK ボタンを押す**

3 **ジョグダイヤルで種類を変更したいアルバムを選ぶ**

4 **OK ボタンを ▼ に動かして［アルバム変更］を選び、OK ボタンを押す**

5 **ジョグダイヤルでアルバムの種類を選び、OK ボタンを押す**

種類を変更したアルバムが画像の保存場所としてセットされ、撮影できる状態になります。

HDD にあるアルバムを画像の保存場所に選ぶ

1 **撮影メニューからジョグダイヤルで［ドライブ & アルバム］を選び、OK ボタンを押す**

2 **ジョグダイヤルで［HDD］を選び、OK ボタンを押す**

3 **ジョグダイヤルで目的のアルバムを選び、OK ボタンを押す**

選んだアルバムが画像の保存場所としてセットされ、撮影できる状態になります。

SD カードを画像の保存場所に選ぶ・アルバムをつくる

1 **撮影メニューからジョグダイヤルで［ドライブ & アルバム］を選び、OK ボタンを押す**

2 **ジョグダイヤルで［SD］を選び、OK ボタンを押す**

メッセージが表示されます。

3 **ジョグダイヤルで［はい］または［いいえ］を選び、OK ボタンを押す**

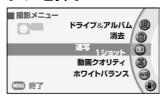
［はい］を選ぶと、新しく作成したアルバムが画像の保存場所としてセットされ、撮影できる状態になります。
［いいえ］を選ぶと、SD カード内の最新アルバムが画像の保存場所としてセットされ、撮影できる状態になります。

メモ

- SD カードには、アルバムの種類を設定できません。

連続撮影する

ポイント
- 子供やペットなど、シャッターチャンスをとらえるのがむずかしい被写体の撮影に最適です。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［連写］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで [連写] を選び、OK ボタンを押す

設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。
1 ショット : 1 枚ずつ撮影する
連写　　　: 連続撮影する

3 MENU ボタンで撮影メニューを終了し、撮影モードにする

4 構図を決め、REC ボタン半押しでピントを合わせたら、全押ししたままにする

連続撮影が始まります。
連続撮影の途中で REC ボタンを離すと、撮影は終了します。

メモ
- 撮影間隔は、撮影状況によって変わります。

撮影の応用

動画の画質を設定する

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［動画クオリティ］を選び、OK ボタンを押す

画質の種類と、その画質で撮影可能な時間が表示されます。

2 ジョグダイヤルで画質を選び、OK ボタンを押す

選んだ画質がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。
SHQ　：最高画質
HQ　 ：高画質
SP　 ：標準画質

動画の記録時間の目安

HDD および SD カードに記録できる目安は次のとおりです。
被写体によって、記録されるデータ量が異なるため、撮影可能時間の減り方が一定でない場合があります。

動画クオリティ		HDD		SD カード				
		80GB* (GSC-K80H)	40GB (GSC-K40H)	8GB	4GB	2GB	1GB	512MB
SHQ	約 15Mbps	約 11 時間 30 分	約 5 時間 40 分	約 65 分	約 30 分	約 16 分	約 8 分	約 4 分
HQ	約 12Mbps	約 14 時間 20 分	約 7 時間 10 分	約 85 分	約 40 分	約 20 分	約 10 分	約 5 分
SP	約 9Mbps	約 19 時間 10 分	約 9 時間 30 分	約 110 分	約 55 分	約 27 分	約 14 分	約 6 分

* 1GB を 10 億バイトで計算した数値です。実際にフォーマットされた容量は、表記 の数値より少なくなります。

メモ

- ドライブの空き容量と画質によって、表示される撮影可能時間は変動します。

自然な色合いで撮影する（ホワイトバランス）

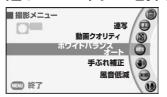
さまざまな光源の下で撮影するとき、自然な色合いになるようにホワイトバランス (「用語」⇨138 ページ) を設定します。

ポイント

- 登録されているホワイトバランスがうまく合わないときは、プリセットを使って手動で設定できます。

気をつけよう

- ［オート］以外に設定されているとき、光源と設定内容が違うと、色合いが不自然になります。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［ホワイトバランス］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで使用するホワイトバランスを選び、OK ボタンを押す

［PRESET］を選んだ場合は「プリセットデータを上書きする」または「プリセットデータを使用する」に進みます。［PRESET］以外を選んだときは、撮影できる状態に戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

AUTO　: 自動調整
晴れ　: 太陽光での撮影
曇　: くもり空での撮影
蛍光灯 H　: 昼光色蛍光灯下での撮影（青みがかった蛍光灯）
蛍光灯 L　: 昼白色蛍光灯下での撮影（赤みがかった蛍光灯）
白熱灯　: 白熱灯下での撮影
PRESET　: プリセット（自分で登録したデータを使用する）

プリセットデータを上書きする

現在の光源に合わせて、新しくプリセットデータを上書き登録します。

1 ［PRESET］を選んで表示されたメニューから、ジョグダイヤルで［データを上書きする］を選び、OK ボタンを押す

メッセージが表示されます。

2 白い被写体（白い皿や紙など）を表示された枠内に映して、OK ボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

メモ

- ホワイトバランスを設定するときは、できるだけ表示された枠いっぱいに被写体（白い皿や紙など）を映すようにしてください。

プリセットデータを使用する

現在登録されているデータを使います。

1 ［PRESET］を選んで表示されたメニューから、ジョグダイヤルで［データを使用する］を選び、OK ボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

手ぶれ補正を使って撮影する

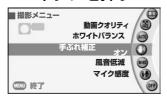
動画撮影時の手ぶれを低減します。

ポイント

- ズーム撮影時に使うと便利です。

気をつけよう

- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追って撮影したときなどは、補正できないことがあります。
- 手ぶれ補正は、シーン設定や周囲の明るさなどによって効果に違いがあります。暗い場所などでは性能を十分に発揮できません。
- 手ぶれ補正は動画撮影時の手ぶれを補正する機能です。静止画撮影時の手ぶれは補正されません。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［手ぶれ補正］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで設定を選び、OK ボタンを押す

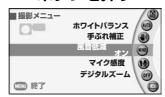
設定がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。
オン：手ぶれ補正機能を使う
オフ：手ぶれ補正機能を使わない

風音低減

動画撮影時の音声録音で風の音を減らすことができます。

気をつけよう

- マイクに直接風があたるような状況での撮影では効果がありません。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで〔風音低減〕を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで設定を選び、OK ボタンを押す

風音低減がセットされ、動画撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。
オン：風音低減機能を使う
オフ：風音低減機能を使わない

マイク感度を変更する

動画撮影時のマイク感度を設定します。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［マイク感度］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで感度を選び、OK ボタンを押す

選んだ感度がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

標準 : 通常のマイク感度
高 : マイク感度を高く設定する
聞き取りにくい小さな音を録音したいときに選ぶ
低 : マイク感度を低く設定する
周囲の雑音を低減したいときに選ぶ

デジタルズーム

画面中央部をデジタル処理によって、さらに拡大できます。
画素補完技術によってデジタルズームのときも、設定した記録画素数で画像が記録されます。

気をつけよう
- デジタルズームを使うと、画質が劣化します。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［デジタルズーム］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで倍率を選び、OK ボタンを押す

デジタルズームがセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。
30 倍 ：3 倍デジタルズームを使う
（光学 10 倍ズームと合わせて最大 30 倍）
オフ ：デジタルズームを使わない

測光方式を選ぶ

露出を計算するための測光方式を設定します。

ポイント
- 逆光のときなどに［スポット］を使用すると、特定の被写体に露出を合わせることができます。

気をつけよう
- 測光ポイントが明るすぎると、撮影した画像が暗くなってしまいます。
- 測光ポイントが暗すぎると、撮影した画像が白っぽくなってしまいます。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［測光方式］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［中央重点］または［スポット］を選び、OK ボタンを押す

選んだ測光方式がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

中央重点　：中央部に重点をおいて画面全域を測光して、露出を決める
スポット　：画面中央のごく狭い部分を測光して露出を決める

ピントを合わせる領域を選ぶ（AF 測距点）

ピントを合わせる範囲を設定します。

ポイント

- 集合写真など被写体が複数ある場合や、被写体が中央にない場合は、［マルチ］を使うとピントが合わないなどのミスが減ります。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［AF 測距点］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［中央］または「マルチ」を選び、OK ボタンを押す

選んだ測距方法がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止する場合は MENU ボタンを押します。

中央　：中央の被写体との距離を測り、ピントを合わせる
フォーカスエリアは常に液晶モニターの中央に表示される

マルチ：複数ある測距点のどこで距離を測るかをカメラまかせにする
フォーカスエリアは、ピントが合った部分に表示される

AF 補助光を使って撮影する

暗い被写体の静止画を撮影するときは、以下の手順で補助光を点灯させせます。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［AF 補助光」を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［オン］または［オフ」を選び、OK ボタンを押す

AF 補助光がセットされ、撮影メニューに戻ります。

設定を中止する場合は MENU ボタンを押します。

オン : 暗い被写体の静止画を撮影するための AF 補助光が点灯します

オフ : AF 補助光は点灯しません

画像のカラーを変更する

撮影する画像の色を設定します。白黒やセピア色の画像が撮影できます。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［カラー］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルでカラーを選び、OK ボタンを押す

選んだカラーがセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

標準　　　：カラー
あざやか　：あざやかなカラー
モノクロ　：白黒
セピア　　：セピア

画像のコントラストを変更する

撮影する画像の明暗の差を設定します。明暗をはっきりさせたり、ぼやかしたり、画像の表現を変更できます。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで〔コントラスト〕を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルでコントラストを選び、OK ボタンを押す

選んだ設定がセットされ、撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。
標準　: 自動設定
ハード : 明暗の差を大きくする
ソフト : 明暗の差を小さくする

画像のタッチを変更する（シャープネス）

撮影する画像のタッチを設定します。輪郭をはっきりさせたり、やわらかい感じにしたり、画像の表現を変更できます。

1 撮影メニューからジョグダイヤルで［シャープネス］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで画像のタッチを選び、OK ボタンを押す

選んだ設定がセットされ撮影メニューに戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

標準　：普通のタッチ
ハード　：かたいタッチ
ソフト　：やわらかいタッチ

液晶の明るさを変更する

ポイント

- 液晶を明るくすると、屋外などの明るい場所でも見やすくなります。

気をつけよう

- 液晶の明るさを暗くしたまま明るい場所に移動すると、液晶モニターが映っていないように見えます。

撮影（再生）メニューから液晶の明るさを変更する

1 撮影メニュー（再生メニュー）からジョグダイヤルで［液晶の明るさ］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで明るさを調整し、OK ボタンを押す

液晶の明るさがセットされ、メニューを表示する前の状態に戻ります。
設定を中止するときは、MENU ボタンを押します。

メモ

- 液晶の明るさは、再生メニューからも設定できます。
- 液晶の明るさを変更しても、撮影画像の明るさは変化しません。

動画撮影中に液晶の明るさを変更する

1 動画撮影中に MENU ボタンを押す

画面に液晶の明るさアイコンが表示されます。

2 ジョグダイヤルで明るさを調整し、OK ボタンを押す

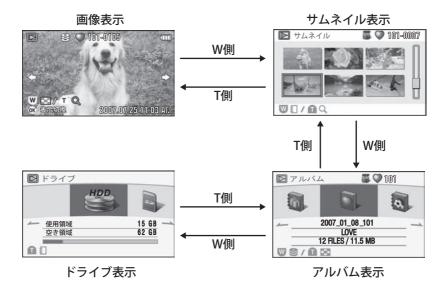
液晶の明るさがセットされます。

メモ

- 液晶の明るさを変更しても、撮影画像の明るさは変化しません。

再生の応用

階層を切り換える

目的の画像を探すときに、ズームレバーを使って「一覧表示」にしたり、「アルバム」や「ドライブ」を選んだりすることができます。

画像を一覧表示する（サムネイル表示）

画面に、縮小した画像を一覧表示できます。縮小して一覧表示することを本書中では「サムネイル表示」とよびます。一覧できる画像は、一度に 6 画像までです。

1 再生モードにし、ズームレバーを W 側にスライドする

画像がサムネイル表示されます。
画像が 7 つ以上ある場合は、ジョグダイヤルで画面をスクロールしてください。
選んだサムネイル画像を通常の大きさで表示するには、ズームバーを T 側にスライドします。

別のアルバムへ移動するには

二とおりの方法があります。

- 画面をジョグダイヤルでスクロールしていき、表示された「次のアルバム（前のアルバム）」にカーソルを合わせて、OK ボタンを押します。
- 階層を移動してアルバム表示にし、再生したいアルバムを選ぶ
「再生するアルバムやドライブを選ぶ」➪ 77 ページ

再生するアルバムやドライブを選ぶ

1 サムネイル表示にする

2 ズームレバーを W 側にスライドする

アルバム表示になります。
ジョグダイヤルで再生するアルバムが選べます。
ズームレバーを T 側にスライドすると、選んでいるアルバムの中の画像がサムネイル表示されます。

3 アルバム表示の状態で、ズームレバーを W 側にスライドする

ドライブ表示になります。
ジョグダイヤルで再生するドライブが選べます。
ズームレバーを T 側にスライドすると、選んでいるドライブの中のアルバムが表示されます。

メモ

- ここで選んだドライブは再生するドライブです。撮影した画像を保存するドライブと違う方を選んでも、画像の保存先が切り換わることはありません。
  「アルバムを作る・選ぶ」➡ 56 ページ

再生の応用

動画の再生方法を選ぶ

動画再生方法は、次の 2 つから選ぶことができます。
連続再生　： 同じアルバム内の動画を最後まで順番に再生します。
1 ファイル： 選んだ動画だけを再生します。

1 再生モードにする

2 ジョグダイヤルで再生したい動画を選ぶ

3 OK ボタンを ▼ に動かす

動画再生アイコンが表示されます。

4 ジョグダイヤルで［連続再生］または［1 ファイル］を選び、OK ボタンを押す

動画の 1 コマを静止画に切り出す

動画の 1 コマを静止画として切り出すことができます。

1 再生モードにする

2 ジョグダイヤルで再生したい動画を選ぶ

3 OK ボタンを ▲ へに動かす

動画が再生されます。

4 静止画に切り出したい場面で、OK ボタンを ▲ に動かして再生を一時停止する

ジョグダイヤルを使うと、コマ送り（戻し）しながら、静止画に切り出す場面をより正確に指定することができます。

5 REC ボタンを全押しする

選んだ場面が、静止画として切り出されます。

ズーム再生する

画像の細部が確認できます。

静止画をズーム再生する

1 **再生モードにし、ジョグダイヤルでズーム再生したい静止画を選ぶ**

2 **ズームレバーを T 側にスライドする**

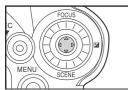
画像が拡大表示されます。
ズームレバーを W 側にスライドすると、縮小表示されます。
OK ボタンを ◀ ▶ ▲ ▼ へ動かすと、拡大表示する位置を移動できます。
ズーム再生をやめて通常の大きさに戻すには、OK ボタンを押します。

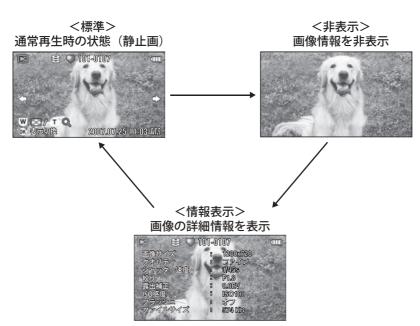
→ T 側にスライド →
← W 側にスライド ←

メモ
- 動画はズーム再生できません。

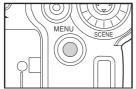
再生表示を切り換える

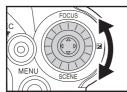
再生画像の表示状態を切り換えることができます。

1 再生モードにし、ジョグダイヤルで画像を選ぶ

2 OK ボタンを押す

OK ボタンを押すごとに、情報表示の状態が図のように切り換わります。

再生の設定を変更する

再生の設定変更のほかに、画像の保護や印刷に関する設定ができます。
電源を切ったり、オートパワーオフが働いたりしても、設定内容は保持されます。

1 再生モードで MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルでメニュー項目を選び、OK ボタンを押す

3 設定画面で目的の設定をする

設定が終了すると再生メニューに戻ります。

4 再生メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

再生モードに切り換わります。

再生メニュー設定時のボタン操作

画面 / ボタン・レバー	メニュー項目表示時	設定項目表示時
OK	選択されている項目に決定	
OK ボタン ▲	メニュー項目の選択	設定項目の選択
OK ボタン ▼	メニュー項目の選択	設定項目の選択
OK ボタン ▶	選択されている項目に決定	
OK ボタン ◀	–	前の画面に戻る
ジョグダイヤル右	メニュー項目の選択	設定項目の選択
ジョグダイヤル左	メニュー項目の選択	設定項目の選択
MENU	再生の状態に戻る	再生メニューに戻る
モードボタン	再生の状態に戻る	

再生メニュー

メニュー名	概要	参照
消去	画像の消去	95
オートプレイ	オートプレイをする画像の種類などの設定、および オートプレイの実行	84
プロテクト	画像を保護して、読み出し専用にする	86
コピー	画像のコピーをする	89
PictBridge	カメラをプリンターに直接つないで印刷する	91
動画編集	動画の不要部分を削除する	93
液晶の明るさ	液晶モニターの明るさ設定	73
セットアップ	セットアップメニューへ移動	101

オートプレイを設定・実行する

画像を順番に自動再生します。

オートプレイを設定する

1 **再生メニューからジョグダイヤルで［オートプレイ］を選び、OK ボタンを押す**

オートプレイメニュー画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルで設定項目を選び、OK ボタンを押す**

実行する　：オートプレイを実行する
対象画像　：オートプレイをする画像の種類を選ぶ
アルバム　：オートプレイをするアルバムを選ぶ

3 **ジョグダイヤルで目的の設定項目を選び、OK ボタンを押す**

選んだ設定項目がセットされ、オートプレイメニュー画面に戻ります。

対象画像
静止画　　　　：静止画だけ再生
動画　　　　　：動画だけ再生
静止画＆動画　：動画と静止画の両方を再生

アルバム
現在のアルバム　　：現在選ばれているアルバムだけを再生
すべてのアルバム　：すべてのアルバムを再生

- オートプレイの間、オートパワーオフは働きません。
- オートプレイ時は、3 秒間隔で画像が切り換わります。

オートプレイを実行する

1 再生メニューからジョグダイヤルで〔オートプレイ〕を選び、OK ボタンを押す

オートプレイメニュー画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルで〔実行する〕を選び、OK ボタンを押す

オートプレイが始まります。
再生中に OK ボタンを▲へ動かすと、一時停止／再開できます。
OK ボタンを▼へ動かして終了するまで、オートプレイは繰り返されます。

画像を保護する（プロテクト）

画像を誤って消去しないように、読み出し専用データにします。このことをプロテクトといいます。

気をつけよう

- プロテクトされている画像でも、フォーマットをすると画像はすべて消去されてしまいます。消去された画像は元には戻りません。

画像を選んでプロテクトする

1 再生メニューからジョグダイヤルで［プロテクト］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルでプロテクトする画像を選び、OK ボタンを押す

プロテクトする画像の下に [ ] が表示されます。
プロテクトを解除したいときは、もう一度 OK ボタンを押します。
プロテクトしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。前のアルバム／次のアルバムへは、OK ボタンを ◀ ▶ へ動かして移動できます。

3 ▼ ボタンで［決定］を選び、OK ボタンを押す

プロテクトが実行され、再生メニューに戻ります。
プロテクトを実行しないときは、［キャンセル］を選び、OK ボタンを押します。

拡大表示して画像を確認したいときは

手順 2 で、ズームレバーを T 側にスライドします。
拡大表示で W 側にスライドすると、プロテクト設定の画面に戻ります。

アルバム内の全画像をプロテクトしたいときは

手順 2 で、OK ボタンを ▼ へ動かして［すべて選択］を選び、OK ボタンを押します。

メモ

- プロテクトされている画像には再生画面やプロテクト設定時に [ ] が表示されます。
- SD カード全体をプロテクトするには、「誤消去防止について」(➡ 14 ページ) をご覧ください。
- 大量の画像を一度にプロテクトすると、処理に数時間かかる場合があります。

アルバムをプロテクトする

アルバム内のすべての画像をプロテクトすることができます。

1 再生メニューの［プロテクト］を選び、OK ボタンを押す

2 ズームレバーを W 側にスライドする

3 ジョグダイヤルでプロテクトするアルバムを選び、OK ボタンを押す

プロテクトするアルバムの下に [On] （黒色）が表示されます。
プロテクトを解除したいときは、もう一度 OK ボタンを押します。
プロテクトしたいアルバムが複数あるときは、この手順を繰り返します。
プロテクトされている画像とプロテクトされていない画像が混在しているアルバムの下には、[On]（灰色）が表示されます。

4 OK ボタンを ▼ に動かして［決定］を選び、OK ボタンを押す

プロテクトが実行され、再生メニューに戻ります。
中止するときは、［キャンセル］を選び、OK ボタンを押します。

すべてのアルバムをプロテクトしたいときは

手順 3 で、OK ボタンを ▼ へ動かして［すべて選択］を選び、OK ボタンを押します。

プロテクトを解除する

1 再生メニューの［プロテクト］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルでプロテクトを解除する画像を選び、OK ボタンを押す

プロテクトを解除する画像の下の [On] が消えます。
解除を取り消したいときは、もう一度 OK ボタンを押します。
解除したい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。

3 OK ボタンを ▼ に動かして［決定］を選び、OK ボタンを押す

プロテクトの解除が実行され、再生メニューに戻ります。
中止するときは、［キャンセル］を選び、OK ボタンを押します。

アルバム内の全画像をプロテクト 解除するには
手順 2 で、OK ボタンを ▼ へ動かして［すべて解除］を選び、OK ボタンを押します。

画像をコピーする

HDD の画像を SD カードへ、または SD カードの画像を HDD へコピーします。動画を SD カードにコピーすることもできます。同じドライブには画像をコピーできません。

気をつけよう

- 画像のコピーをするときは、AC アダプターを接続した状態で行ってください。コピー中にバッテリー残量がなくなると、コピーを中止して自動的に電源が切れます。
  この場合は、AC アダプターに接続するか、バッテリーを十分に充電した状態で再度コピーを行ってください。

1 再生メニューからジョグダイヤルで［コピー］を選び、OK ボタンを押す

メッセージが表示されます。

2 ジョグダイヤルで［次へ］を選び、OK ボタンを押す

3 ジョグダイヤルでコピーする画像を選び、OK ボタンを押す

コピーする画像の下に [ ] が表示されます。
コピー対象からはずしたいときは、もう一度 OK ボタンを押します。
コピーしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。
前のアルバム／次のアルバムへは、OK ボタンを◀ ▶ へ動かして移動できます。

4 OK ボタンを ▼ に動かして［決定］を選び、OK ボタンを押す

メッセージが表示されます。
コピーをしない場合は、［キャンセル］を選び、OK ボタンを押します。

再生の応用

5 ジョグダイヤルで［次へ］を選び、OK ボタンを押す

6 ジョグダイヤルでコピー先のドライブを選び、OK ボタンを押す

7 ジョグダイヤルでコピー先のアルバムを選び、OK ボタンを押す

新しいアルバムにコピーするときは、OK ボタンを▼へ動かして［新規作成］を選び、OK ボタンを押します。ジョグダイヤルでアルバムの種類を選び、OK ボタンを押します。
コピーが終了すると再生メニューに戻ります。

拡大表示して画像を確認したいときは

手順 3 で、ズームレバーを T 側にスライドします。
拡大表示で W 側にスライドすると、コピー設定の画面に戻ります。

アルバム内の全画像をコピーしたいときは

手順 3 で、OK ボタンを▼へ動かして［すべて選択］を選び、OK ボタンを押します。

メモ

- 長時間の動画や大量の画像を一度にコピーすると、処理に数時間かかる場合があります。

カメラから直接プリントする（PictBridge）

PictBridge (「用語」➪ 138 ページ) に対応しているプリンターを使うと、パソコンを使わずにカメラから直接プリントできます。

気をつけよう

- 静止画を印刷するときは、AC アダプターを接続した状態で行ってください。印刷中にバッテリー残量がなくなると、印刷を中止して自動的に電源が切れます。この場合は、AC アダプターに接続するか、バッテリーを十分に充電した状態で再度印刷を行ってください。
- PictBridge に対応しているすべてのプリンターとの接続を保証するものではありません。
- プリンターとの接続中に USB ケーブルを抜くと、正常に動作しなくなる場合があります。

1 再生メニューからジョグダイヤルで［PictBridge］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルでプリントする静止画を選び、OK ボタンを ▲▼ へ動かして枚数を設定する

前のアルバム／次のアルバムへは OK ボタンを ◀ ▶ へ動かして移動できます。枚数は全部で最大 99 枚まで設定できます。

3 枚数設定が終わったら OK ボタンを押す

4 ジョグダイヤルで［決定］を選び、OK ボタンを押す

プリンター接続のメッセージが表示されます。

5 USB ケーブルでカメラとプリンターを接続する

接続が完了すると、印刷設定画面が表示されます。

6 ジョグダイヤルで設定項目を選び、OK ボタンを押す

用紙サイズ　：印刷する用紙サイズを選ぶ
レイアウト　：印刷レイアウトを選ぶ
用紙タイプ　：印刷する用紙のタイプを選ぶ
日付印刷　　：撮影日時を印刷するか選ぶ
設定できる値は、接続するプリンターによって異なります。
用紙サイズを変更すると、レイアウトと用紙タイプの値はクリアされます。

7 ジョグダイヤルで設定内容を変更し、OK ボタンを押す

8 OK ボタンを ▼ に動かして［印刷］を選び、OK ボタンを押す

印刷が始まります。
印刷が終了すると、手順 2 の枚数設定の画面に戻ります。
追加の印刷がなければ、MENU ボタンを押します。
「USB ケーブルを抜いてください」というメッセージが表示されたら、カメラ、プリンターから USB ケーブルをはずします。

拡大表示して画像を確認したいときは

手順 2 で、ズームレバーを T 側にスライドします。
拡大表示で W 側にスライドすると、PictBridge 設定の画面に戻ります。

アルバム内の全画像をプリントしたいときは

手順 2 で枚数を設定する前に OK ボタンを押してから、ジョグダイヤルで［すべて選択］を選び、OK ボタンを押します。
次に、OK ボタンを ▲ ▼ へ動かして枚数を設定します。

メモ

- 指定できるプリント枚数は 99 枚までです。
- プリンターの種類によっては、PictBridge に対応していない場合もありますので、ご注意ください。
- プリンターに接続するときは、AC アダプターを使ってください。
- HDD と SD カードの画像は同時に指定できません。

動画を編集する

指定したポイント（位置）より前、または後ろの部分を削除することができます。

気をつけよう

- 動画を編集するときは、AC アダプターを接続した状態で行ってください。
  編集中にバッテリー残量がなくなると、編集を中止して自動的に電源が切れます。この場合は、AC アダプターに接続するか、バッテリーを十分に充電した状態で再度編集を行ってください。
- 編集した動画は、元には戻せません。
  元の動画を残しておきたいときは、編集する前にコピーしてください。
  「画像をコピーする」⇨ 89 ページ
- プロテクト設定されている動画は、編集できません。

1 再生モードで編集する動画を表示する

2 MENU ボタンを押し、再生メニューからジョグダイヤルで［動画編集］を選び、OK ボタンを押す

動画編集画面が表示されます。

3 OK ボタンを ▲ へ動かして再生する

4 編集するポイントで OK ボタンを ▲ へ動かして、再生を一時停止する

ジョグダイヤルでコマ送り／コマ戻ししながら、編集するポイントを表示します。

5 ポイントを決めたら、OK ボタンを押す

6 ジョグダイヤルで編集内容を選び、OK ボタンを押す

編集内容を確認するメッセージが表示されます。

前を削除
: 指定したポイントより前の部分を削除する

後ろを削除
: 指定したポイントより後ろの部分を削除する

サムネイル画面に指定
: 指定したポイントを通常表示画面およびサムネイル画面にする

戻る : 動画編集画面に戻る

7 ジョグダイヤルで［はい］または［いいえ］を選び、OK ボタンを押す

編集の終了後、再生メニューに戻ります。

動画編集時のボタン操作

ボタン ＼ 状態	停止	再生	一時停止
OK	表示切換	編集ポイント指定	
OK ボタン ▲	再生	一時停止	再生
OK ボタン ▼	−	停止	
OK ボタン ◀	−	ワンタッチリプレイ	
OK ボタン ▶	−	ワンタッチスキップ	
ジョグダイヤル左	−	早戻し	コマ戻し
ジョグダイヤル右	−	早送り	コマ送り

サムネイル画面

- 動画編集で「サムネイル画面に指定」をしていない動画は、先頭の場面が自動的にサムネイル画面になっています。
- 特徴的な場面をサムネイル画面に指定しておけば、サムネイル表示したときに目的の動画を探しやすくなります。
- 「サムネイル画面に指定」をしている動画を編集すると、編集で削除した部分に「サムネイル画面に指定」した場面が含まれていなくても、編集後の先頭場面が自動的にサムネイル画面となります。

メモ

- 空き容量がない場合は、動画編集できません。画像を消去するか、パソコンなどに画像を移動して、空き容量を増やしてください。
- 指定したポイントと実際に編集されるポイントは、多少ずれることがあります。

消去の応用

画像を選択して消去する
アルバムごと消去する
ドライブ内のファイルをすべて消去する

画像を選択して消去する

選んだ複数の画像をまとめて消去できます。

気をつけよう

- 一度消去した画像は元に戻せません。
- プロテクトされている画像は、消去できません。
  「画像を保護する（プロテクト）」⇨ 86 ページ

1 MENU ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［消去］を選び、OK ボタンを押す

消去メニューが表示されます。

3 ジョグダイヤルで［選択消去］を選び、OK ボタンを押す

4 ジョグダイヤルで消去したい画像が保存されているアルバムを選び、ズームレバーを T 側にスライドする

5 ジョグダイヤルで消去する画像を選び、OK ボタンを押す

選んだ画像の下に［🗑］が表示されます。
消去する画像が複数あるときは、この手順を繰り返します。
前のアルバム、次のアルバムへは、OK ボタンを◀ ▶ へ動かして移動できます。
プロテクトされている画像は選べません。

6 OK ボタンを ▼ に動かして［決定］を選び、OK ボタンを押す

消去を確認するメッセージが表示されます。

7 ジョグダイヤルで［はい］を選び、OK ボタンを押す

消去が終了すると、メニューに戻ります。
消去しない場合は［いいえ］を選び、OK ボタンを押します。

拡大表示して画像を確認したいときは

手順 5 で、ズームレバーを T 側にスライドします。
拡大表示で W 側にスライドすると、消去の画面に戻ります。

アルバム内の全画像を消去したいときは

手順 5 で、OK ボタンを ▼ へ動かして［すべて選択］を選び、OK ボタンを押します。

メモ

- SD カードがロック状態の場合、SD カード内の画像は消去できません。
  「誤消去防止について」⇨ 14 ページ
- アルバム内のすべての画像を消去しても、アルバムは消去されません。アルバムを消去するには、アルバムの消去を行ってください。
  「アルバムごと消去する」⇨ 98 ページ

アルバムごと消去する

複数のアルバムをまとめて消去できます。

気をつけよう

- 一度消去した画像は元に戻せません。
- プロテクトされている画像は、消去できません。
  「画像を保護する（プロテクト）」⇨ 86 ページ

1 消去メニューから、ジョグダイヤルで［選択消去］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで消去するアルバムを選び、OK ボタンを押す

選んだアルバムの下に [🗑] が表示されます。
消去するアルバムが複数あるときは、この手順を繰り返します。

3 OK ボタンを ▲ ▼ に動かして［決定］を選び、OK ボタンを押す

消去を確認するメッセージが表示されます。

4 ジョグダイヤルで［はい］を選び、OK ボタンを押す

消去が終了すると、メニューに戻ります。
消去しないときは［いいえ］を選び、OK ボタンを押します。
プロテクトされている画像がある場合は、プロテクトされている画像以外が消去されます。

ドライブ内の全アルバムを消去したいときは

手順 2 で、OK ボタンを▼へ動かして［すべて選択］を選び、OK ボタンを押します。

メモ

- SD カードがロック状態の場合、SD カード内のアルバムは消去できません。
  「誤消去防止について」⇨ 14 ページ

ドライブ内のファイルをすべて消去する

選んだドライブの内容をすべて消去できます。

気をつけよう

- 一度消去した画像は元に戻せません。
- プロテクトされている画像は、消去できません。
  「画像を保護する（プロテクト）」⇨ 86 ページ

1 消去メニューから、ジョグダイヤルで［全画像消去］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで消去するドライブを選び、OK ボタンを押す

消去を確認するメッセージが表示されます。

3 ジョグダイヤルで［はい］を選び、OK ボタンを押す

消去が終了すると、メニューに戻ります。
消去しないときは［いいえ］を選び、OK ボタンを押します。
プロテクトされている画像がある場合は、プロテクトされている画像以外が消去されます。

メモ

- SD カードがロック状態の場合、SD カードの内容は消去できません。
  「誤消去防止について」⇨ 14 ページ

カメラの基本設定

カメラの基本設定を変更する
サウンド
オートパワーオフ
液晶連動 POWER
クイック起動
出力テレビ
LANGUAGE
システム

カメラの基本設定を変更する

このカメラを使うときの環境を設定します。このことをセットアップといいます。
電源を切ったり、オートパワーオフが働いたりしても、設定内容は保持されます。

1 MENU ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［セットアップ］を選び、OK ボタンを押す

3 ジョグダイヤルでメニュー項目を選び、OK ボタンを押す

選んだメニュー項目の設定項目が表示されます。

4 ジョグダイヤルで目的の設定項目を選び、OK ボタンを押す

選んだ設定項目がセットされ、セットアップメニューに戻ります。

5 セットアップメニューを終了するときは、モードボタンで目的のモードを選択する

セット アップメニュー設定時のボタン操作

ボタン・レバー ＼ 画面	メニュー項目表示時	設定項目表示時
OK	選択されている項目に決定	
OK ボタン ▲	メニュー項目の選択	設定項目の選択
OK ボタン ▼	メニュー項目の選択	設定項目の選択
OK ボタン ▶	選択されている項目に決定	–
OK ボタン ◀	撮影メニューまたは再生メニューに戻る	前の画面に戻る
ジョグダイヤル左	メニュー項目の選択	設定項目の選択
ジョグダイヤル右	メニュー項目の選択	設定項目の選択
MENU	元のメニューに戻る	セット アップメニューに戻る
モード ボタン	撮影または再生モード に戻る	

セット アップメニュー

メニュー名	概要	参照
サウンド	カメラの音の設定	104
オート パワーオフ	オート パワーオフの設定	105
液晶連動 POWER	液晶モニター開／閉による電源の切を設定	106
クイック起動	スタンバイとクイック起動の設定	107
出力テレビ	画面のアスペクト比を画像 / 動画を再生するテレビの画面に合わせて設定	108
LANGUAGE	画面に表示される言語の設定	109
日時設定	日時と日時表示形式の設定	24
システム	システムのリセットやド ライブのフォーマット の実行など	110

サウンド

カメラを操作したときの音を設定します。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［サウンド］を選び、OK ボタンを押す

サウンド設定画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルで［オン］または［オフ］を選び、OK ボタンを押す

選択したサウンドが設定され、セットアップメニューが再表示されます。
オン：音を鳴らす
オフ：音を鳴らさない

オートパワーオフ

カメラを一定の時間操作しなかったとき、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［オートパワーオフ］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで時間を選び、OK ボタンを押す

選んだ時間がセットされ、セットアップメニューに戻ります。

5 分　: 5 分間、カメラを操作しなかったとき電源が切れる

10 分 :10 分間、カメラを操作しなかったとき電源が切れる

オフ　: 自動的に電源を切らない

メモ

- オートプレイの間は、この機能は働きません。
- パソコン、プリンターなどと接続している間は、この機能は働きません。
- カメラがスタンバイモードに設定されている場合は、この機能は働きません。
- オートパワーオフから動作の状態に戻すには、POWER ボタンで電源を入れます。

液晶連動 POWER

液晶モニターの開／閉で、電源の切を行う設定をします。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［液晶連動POWER］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［オン］または［オフ］を選び、OK ボタンを押す

選んだ設定がセットされ、セットアップメニューに戻ります。
オン：液晶モニターの開／閉で電源の切をする
オフ：液晶モニターの開／閉で電源の切をしない

メモ

- 液晶モニターをビューワーポジション (➡ 27 ページ) にしても電源は切れません。

クイック起動

カメラを使っていないときや、液晶モニターが閉じている場合にスタンバイモードになるように設定することができます。スタンバイモードでは、REC ◼ ボタン、REC ◼ ボタンを押すか、電源スイッチをスライドさせるか、液晶モニターを開くことにより、カメラの電源を入れることができます。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［クイック起動］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［オン］または［オフ］を選び、OK ボタンを押す

選んだ設定がセットされ、セットアップメニューに戻ります。
オン：スタンバイモードに設定する
オフ：スタンバイモードに設定しない

メモ

- スタンバイモード時、カメラが使用されないまま 20 分間経過するとオートパワーオフの設定に関係なく、電源が切れます。
- スタンバイモードで電源を切る場合は、電源スイッチをスライドさせ、3 秒間押さえたままにしてください。
- スタンバイモードでは、REC ◼ ボタンを押すと動画撮影が始まりますが、REC ◼ ボタンを押したり、電源スイッチをスライドすると、撮影モードプレビューに戻ります。
- POWER スイッチをスライドすると、スタンバイモードに切り換わります。
- ［クイック起動］と［液晶連動 POWER］が［オン］の場合、液晶を閉じるとスタンバイモードに切り換わります。

出力テレビ

画像や動画を再生するテレビに合わせて画面縦横比を設定することができます。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［出力テレビ］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで［16:9］または［4:3］を選び、OK ボタンを押す

選択した画面縦横比が設定され、セットアップメニューが再表示されます。

16:9 ：画面縦横比を 16:9 に設定します

4:3 ：画面縦横比を 4:3 に設定します

メモ

• HDMI 出力には、影響ありません。

LANGUAGE

画面に表示される言語を設定します。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［LANGUAGE］を選び、OK ボタンを押す

2 ジョグダイヤルで言語を選び、OK ボタンを押す

選んだ言語がセットされ、セットアップメニューに戻ります。

ENGLISH　　：英語
日本語　　　：日本語
FRANÇAIS　：フランス語
DEUTSCH　 ：ドイツ語
ESPAÑOL　 ：スペイン語
中国語簡体字 ：中国語（簡体字）
中國語繁體字 ：中国語（繁体字）

システム

HDD 保護機能を使う

万一本体を落下させてしまった場合に、カメラの落下を検知して HDD へのアクセスを停止し、HDD を保護する機能です。

気をつけよう

- 撮影中にカメラを急激に動かしたり、乗り物などに乗りながら撮影していた場合などは、センサーが作動して撮影が停止されることがあります。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［システム］を選び、OK ボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルで［HDD 保護］を選び、OK ボタンを押す

3 ジョグダイヤルで［オン］または［オフ］を選び、OK ボタンを押す

選んだ設定がセットされ、システムメニューに戻ります。
オン：HDD 保護を行う
オフ：HDD 保護を行わない
[オフ] にした場合は万一カメラを落としたとき、HDD が破損する可能性が高くなります。

重要

- HDD 保護を設定していても、カメラの取扱いによっては、HDD が破損したり保存データが破壊されたりする場合があります。HDD 保護は、HDD や保存データを保証するものではありません。
- 落下を検知して HDD へのアクセスを停止すると「HDD にアクセスできませんでした」と表示されますので、電源を入れ直してください。
- 動画撮影中に落下を検知して HDD へのアクセスを停止すると、動画ファイルが正常に作成できないため、再生ができません。この動画は消去してください。

システムをリセットする

カメラの設定内容を購入時の状態に戻します。ただし、ドライブ & アルバム、ホワイトバランスのプリセットデータ、言語、日時設定は戻りません。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［システム］を選び、OK ボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルで［リセット］を選び、OK ボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

3 ジョグダイヤルで［はい］を選び、OK ボタンを押す

リセットが終了すると、システムメニューに戻ります。

HDDまたはSDカードをフォーマットする

HDDやSDカードを初期化します。フォーマット(「用語」⇨ 138ページ)すると、HDDまたはSDカードに記録されている画像や作成したアルバムがすべて消去されます。

気をつけよう

- フォーマットするときは、ACアダプターを接続した状態で行ってください。
- フォーマットすると、プロテクトされている画像も消去されます。また、画像以外のデータもすべて消去されます。フォーマットする前に、必ず確認してください。
  「画像を保護する(プロテクト)」⇨ 86ページ
- SDカードやHDDに異常があるときは、正常にフォーマットできません。
- SDカードを初めて使うときは、その前に必ずこのカメラでフォーマットしてください。

また、SDカードは最大容量を保つように、定期的にフォーマットして雑多なファイルを取り除くことをおすすめします。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［システム］を選び、OKボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルで［フォーマット］を選び、OKボタンを押す

3 ジョグダイヤルで［HDD］または［SD］を選び、OKボタンを押す

フォーマットを確認するメッセージが表示されます。

HDD : HDDをフォーマットする
SD　: SDカードをフォーマットする

4 ジョグダイヤルで［はい］を選び、OK ボタンを押す

メッセージが表示されます。

メモ

- SD カードがロック状態の場合、SD カードのフォーマットはできません。
  「誤消去防止について」⇨ 14 ページ
- カメラに SD カードがはいっていないと、［SD］は選べません。

重要

- HDD の動作環境を良好な状態に保つために、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
  「HDD の使い方について」⇨ 13 ページ

バージョン情報表示

カメラのバージョン情報を表示します。

1 セットアップメニューから、ジョグダイヤルで［システム］を選び、OK ボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルで［バージョン情報］を選ぶ

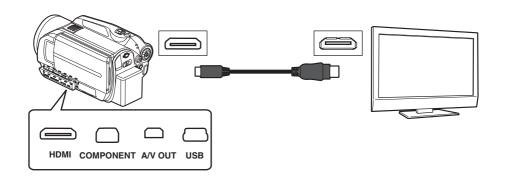
バージョン情報が表示されます。
MENU ボタンを押すと、セットアップメニューに戻ります。

テレビと接続する

HDMIケーブルで接続する

HDMI ケーブル（市販品）を使って、カメラとテレビを接続します。
デジタル信号でハイビジョン映像を楽しむことができます。

1 カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続する

カメラの HDMI 出力端子とテレビの HDMI 入力端子を HDMI ケーブルで接続します。

メモ

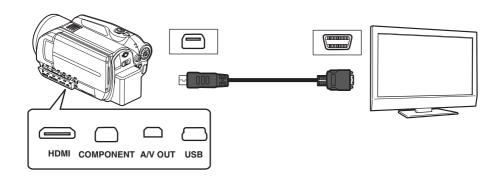
- カメラの HDMI 出力端子は、Mini HDMI 端子（Type C）です。HDMI ケーブルを購入するときは、片方が Mini HDMI 端子（Type C）のものをお求めください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの表示があるものをお求めください。
- ハイビジョン出力中はデジタルズームできません。

D 端子コンポーネントケーブルで接続する

付属の D 端子コンポーネントケーブルを使って、カメラとテレビを接続します。アナログ信号でハイビジョン映像を楽しむことができます。

1 カメラとテレビを D 端子コンポーネントケーブルで接続する

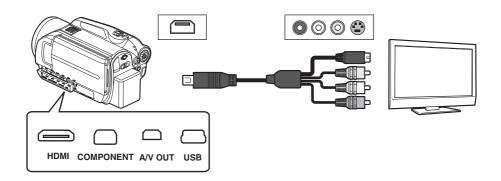
カメラのコンポーネントビデオ端子とテレビの D 入力端子を D 端子コンポーネントケーブルで接続します。

メモ

- D 端子コンポーネントケーブルは映像のみの出力です。音声を出力するには AV ケーブルの音声（赤色と白色）端子を接続してください。
- ハイビジョン出力中はデジタルズームできません。

AVケーブルで接続する

付属のAVケーブルを使って、カメラとテレビを接続します。ハイビジョンに対応していないテレビにも表示することができます。

1 カメラとテレビをAVケーブルで接続する

カメラのAV/S OUT端子とテレビのビデオ入力端子をAVケーブルで接続します。

メモ

- 撮影モードのときは、音声は出力されません。

パソコンと接続する

ソフトウェアについて
接続するパソコンについて
ソフトウェアをインストールする
カメラの画像をパソコンにバックアップする

ソフトウェアについて

この取扱説明書は、お客様がお使いのパソコンの基本的な使用方法に関する知識をお持ちになっていることを前提として書いています。パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたは OS の取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属の CD-ROM には、次のソフトウェアが収録されています。

- ImageMixer™ 3 for TOSHIBA
  撮影した画像をパソコン上で見たり、パソコンに読み込んで、動画や静止画ファイルの管理が簡単にできます。
  ImageMixer と、このカメラ以外の機器との接続は保証しておりません。

ImageMixer™ 3

- Nero Vision 5 for TOSHIBA
  gigashot 付属の DVD オーサリングソフト Nero Vision 5 では、メニューやトランジション効果などのある（HD-DVD、）DVD のオーサリングはもちろん、臨場感あふれるオーディオと、高画質のビデオを併せ持ったディスクを作成することができます。使いやすいウィザード形式のインターフェイスを採用しているので、Image Mixer との連携で読み込んだビデオを簡単に（HD DVD ビデオ、または）DVD ビデオとして記録することができます。また H.264 互換の Nero Digital 形式にエクスポートすることが出来ます。
  Nero 製品のサポートは Nero のオンラインサポート http://support.nero.com までご連絡下さい。

接続するパソコンについて

パソコンとカメラを接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して、加工したり、インターネットを通じて家族や友人に送ったり、DVD に収録したりできます。

接続するパソコンの動作環境

カメラと接続するパソコンには、次のシステム環境が必要です。接続する前にお確かめください。

ソフトウェア動作環境

OS*1	Windows® XP Home Edition / Windows® XP Professional Windows® XP Media Center Edition / Windows Vista™ Home Basic Windows Vista™ Home Premium / Windows Vista™ Ultimate Windows Vista™ Business / Windows Vista™ Enterprise (64bit の OS に対応しておりません)
CPU	Pentium® 4 3.6GHz 以上 、Pentium® D 2.8GHz 以上 Core™ Duo 1.66GHz 以上 / Core™ 2 Duo 1.66GHz 以上
RAM	1GB 以上
HDD	HD DVD 作成時は 30GB 以上必要
ディスプレイ	1024 × 768 以上 (nVidia GeForce 7600GT 以上、AMD(ATI) Radeon X1600 以上を推奨)
I/F	パソコンに標準搭載された USB1.1 ／ USB2.0（USB2.0 を推奨）
対応メディア	書き込みドライブに依存 DVD-Video : DVD-R/-RW/-R DL, DVD+R/+RW/+R DL HD DVD-Video : HD DVD-R
対応ドライブ	HD DVD-R ドライブ (HD DVD ディスクに HD 映像を記録する場合必要) DVD-R ドライブ (DVD ディスクに記録する場合必要。ただし、ＨＤ映像はＳＤ映像に変換されて記録されます)
その他	Microsoft® Internet Explorer® 5.5以上*2 Microsoft® DirectX® 9以上 環境インストール時は、管理者権限でログオン必須

*1 すべてプリインストールされたパソコンのみ対応とし、アップグレードされたパソコンでの動作保証はできません。Macintosh には対応していません。
また、すべてのパソコンとの動作を保証するものではありません。

*2 Microsoft Internet Explorer 5.5 以上がインストールされていない場合、付属のアプリケーションソフトウェアのインストールが完了しません。付属のアプリケーションソフトウェアウェアをインストールする前に、Microsoft Internet Explorer 5.5 以上をインストールしてください。
Microsoft Internet Explorer のインストールについては、Microsoft のホームページをご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

付属の CD-ROM から ImageMixer™ 3 と、Nero Vision 5 をパソコンにインストールします。
対応 OS は、Windows® XP/Windows Vista™ です。

気をつけよう

- 画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、AC アダプターの使用をおすすめします。
- ImageMixer™ 3 と Nero Vision 5 は、両方がインストールされている必要があります。一方をアンインストールすると、正常に動作しなくなる場合があります。

1 付属の CD- ROM を、パソコンの CD- ROM ドライブに挿入する

2 ［日本語］をクリックする

3 [次へ] をクリックする

4 [使用許諾契約の全条項に同意します] をチェックし、[次へ] をクリックする

5 [次へ] をクリックする

6 [NTSC 主に日本、アメリカなどの方式です] をチェックし、[次へ] をクリックする

7 [インストール] をクリックする

ImageMixer™ 3 for TOSHIBA がインストールされると、Nero Vision 5 for TOSHIBA のインストールが始まります。

8 [次へ] をクリックする

9 [ライセンス許諾条項に同意します] をチェックし、[次へ] をクリックする

10 「ユーザー名」、「組織」を入力し、[次へ] をクリックする

シリアル番号は自動的に入力されます。

11 [通常] をチェックし、[次へ] をクリックする

12 [インストール] をクリックする

13 [すべて選択] をクリックしてすべてをチェックし、[次へ] をクリックする

14 [完了] をクリックする

Nero Vision 5 for TOSHIBA がインストールされました。

15 [はい] をクリックする

パソコンを再起動して、インストールは終了です。

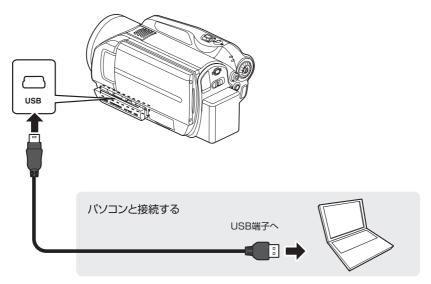
カメラの画像をパソコンにバックアップする

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、新しく追加で記録した画像だけを自動的にパソコンに転送します。

メモ

- カメラとパソコンの接続は「Camera Monitor」によって監視しています。他の監視ツールは終了しておいてください。他の監視ツールが起動していると、「Camera Monitor」が正常に機能しない場合があります。

ImageMixer™ 3 と、Nero Vision 5 をパソコンにインストールしておきます (122 ページ)。
カメラとパソコンの電源を入れます。

1 カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する

新しく追加で記録した画像が自動的にパソコンに転送されます。転送済みの画像にはバックアップマークが表示されます。

2 転送が終わると、ImageMixer™ 3 が起動します

パソコンと接続する

USB 接続時に画像の自動転送をしない

ImageMixer™ 3 の設定を変更すると、USB 接続時に自動的に画像を転送しないようにできます。

1 ImageMixer™ 3 を起動する

デスクトップの「ImageMixer™ 3 for TOSHIBA」をクリックします。

2 メニューから [設定] - [環境設定] をクリックする

3 「カメラ接続時の動作」の [ImageMixer 3 を起動する] をチェックする

4 [OK] をクリックする

パソコンからカメラを取りはずす

1 パソコンのデスクトップ上で、右下にあるタスクトレイの「 」をクリックする

2 メッセージに従って操作し、操作が終了したら USB ケーブルを取りはずす

ファイルの構造について

カメラとパソコンを接続すると、カメラで撮影した画像は、次のように表示されます。

[XXXTOSHI]
東芝のカメラで撮影した画像のフォルダを意味します。
100 ～ 999 のフォルダ番号が、状況に応じて割り当てられます。

静止画
ファイル名は GSC_XXXX.jpg です（XXXX は 0001 ～ 9999 の数字）。拡張子の「.jpg 」は JPEG 形式 (⇨「用語」138 ページ) のファイルを意味します。
撮影した画像は Exif フォーマット (⇨「用語」138 ページ) で保存されます。

デスクトップ　例
マイドキュメント
マイコンピュータ
3.5 インチ FD (A:)
CD-ROM (D:)
gigashot (E:)
DCIM
100TOSHI
101TOSHI

動画（音声付き）
ファイル名は GSC_XXXX.MP4 です（XXXX は 0001 ～ 9999 の数字）。
拡張子の「.thm 」は動画用サムネイルデータのファイルを意味します。

付録

仕様
故障かな？と思ったら
エラーメッセージ
用語
アフターサービスについて
さくいん

仕様

撮像素子	1/3 型 CMOS センサー 総画素数：135 万画素 有効画素数：静止画約 92 万画素、動画約 92 万画素
レンズ	光学 10 倍ズームレンズ　F3.5 焦点距離：f=6.0-60.0mm（35mm カメラ換算：46.2-503.6mm） フィルター径：43mm
撮影範囲	標準：約 0.1m ～∞（Wide 側）、約 1.0m ～∞（Tele 側）
液晶モニター＊1	3.0 型 TFT カラー液晶 画素数：23 万画素（960x240）
フォーカス制御方式	TTL コントラスト検出 AF
露出制御方式	プログラム AE
測光方式	TTL 分割測光 測光範囲：中央重点測光 / スポット測光
明るさ	ー 2.0EV ～ +2.0EV（1/3EV ステップ）
静止画撮影感度	自動設定：ISO100 ～ 200 相当
シャッター速度	動画：1/15 ～ 1/4800 秒 静止画：1 ～ 1/1000 秒（電子シャッター、メカニカルシャッター併用）
手ぶれ補正	電子式
ホワイトバランス	オート / 晴れ / 曇 / 蛍光灯 H/ 蛍光灯 L/ 白熱灯 / プリセット
デジタルズーム	3 倍
入出力端子	A/V OUT 端子、DC IN 10V 端子、USB 端子、コンポーネントビデオ端子、HDMI 出力端子（type C）
電源	専用充電式リチウムイオンバッテリー（GSC-BT6）/ AC アダプター（SQPH20W10P-02）
記録媒体	HDD：80GB＊2（GSC-K80H）／ 40GB＊2（GSC-K40H） SD メモリーカード ：最大 8GB SDHC/SD までサポート
動画	記録形式：MPEG-4 AVC/H.264 (60 fps) 記録画素数：1280x720 音声：AAC、48kHz、16bit、ステレオ、128kbps
静止画	記録形式：JPEG（Exif 2.21、DCF 2.0 準拠） 記録画素数：92 万画素（1280x720）
使用環境	温度：+5 ℃～ +40 ℃（動作時）/-20 ℃～ +60 ℃（保存時） 湿度：30% ～ 80%RH（動作時、ただし結露しないこと）
外形寸法 （幅 x 高さ x 奥行き）	86.8mm x 80.0mm x 135.5mm（突起部を含む、バッテリー未装着） 86.8mm x 80.0mm x 146.8mm（突起部を含む、バッテリー装着時）
質量	GSC-K80H：約 515g（本体のみ） 約 585g （バッテリー、SD カード、レンズキャップ含む） GSC-K40H：約 500g（本体のみ） 約 570g （バッテリー、SD カード、レンズキャップ含む）

*1 液晶モニターは非常に高精度の技術で作られておりますが、微細な斑点が現れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

* 2 1GB を 10 億バイトで計算した数値です。実際にフォーマットされた容量は、表記の数値よりも少なくなります。

仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

画面に表示されるエラーメッセージ (➪ 137 ページ)、LED (➪ 17 ページ) などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法・補足	ページ
電源・準備			
充電できない	バッテリーが正しい向きではいっていない。	バッテリーを正しい向きで入れる。	19
	AC アダプターがつながっていない。	AC アダプターをつなげる。	20
	本体の電源がはいっている。	本体の電源を切る。	23
	カメラまたはバッテリーが高温になっている。	カメラまたはバッテリーを十分に冷ましてから充電する。	20
	カメラまたはバッテリーが低温になっている。	カメラまたはバッテリーを暖めてから充電する。	20
電源がはいらない	AC アダプターがつながっていない。	AC アダプターをつなげる。	20
	バッテリーが消耗している。	充電する。	20
	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	19
すぐに電源が切れる	バッテリーが消耗している。	充電する。	20
	温度が極端に低いところで使っている。	バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。	12
	端子が汚れている。	バッテリーおよび本体の端子を、乾いたきれいな布で拭く。	21
	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	19
電源が勝手に切れる	オートパワーオフが働いている。	電源を入れる。 オートパワーオフの設定を切り換える。	23 105
オートパワーオフが働かない	オートプレイを実行している。	オートプレイを停止する。	85
	パソコンと接続している。	パソコンとの接続を終了する。	126
	PictBridge でプリンターと接続している。	PictBridge を終了する。	92
電源が切れない	クイック起動がオンになっている。	クイック起動を [オフ] にする。	107
クイック起動できない	スタンバイで 20 分が経過した。	スタンバイで 20 分経過すると電源オフになります。	107
日付・時刻が合っていない	バッテリーまたは AC アダプターがない状態で長時間放置していた。	日付・時刻を再設定する。	24
	正常な起動・終了操作をしなかった。	日付・時刻を再設定する。	24

状況	原因	対処方法・補足	ページ
アルバムが作成できない	記録先のドライブに空き容量がない	別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 動画を編集する。 画像を別のドライブ、パソコンや DVD などに移動する。	22 58 95 93 125
	記録先のドライブにアルバム番号「999」のアルバムが存在する。	別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 「999」のアルバムを消去する。	22 58 98
SD カードが認識されない	SD カードの端子が汚れている。	SD カードの端子を乾いたきれいな布でふく。	–
	SD カードが壊れている。	別の SD カードに交換する。	22
液晶モニターが見づらい	液晶の明るさの設定が合っていない。	液晶モニターが見やすくなるように「液晶の明るさ」を設定する。	73
リセットしても戻らない設定がある	–	ドライブ＆アルバム、ホワイトバランスのプリセットデータ、言語、日時設定は、リセットしても初期設定には戻りません。	111
すべてのボタン類が操作できない	システムに異常が発生した。	POWER スイッチを 5 秒以上スライドして、強制的に電源を切る。このとき、作成中のデータが消失したり、設定が初期設定に戻ることがあります。	23
動作が遅い	HDD に大量の画像がある。	画像を消去する。 動画を編集する。 画像を別のドライブ、パソコンや DVD などに移動する。	95 93 125
リモコンが効かない	リモコンの電池が正しい向きではいっていない。	電池を正しい向きで入れる。	28
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換する。	28
	使用できる範囲からはずれている。	距離：約 4m 以内、角度：上下左右約 20 度以内で使用する。	28
	リモコン受光部に強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光を当てない。	28
撮影			
ピントが合わない	被写体までの距離とフォーカス設定が合っていない。	被写体との距離にあったフォーカス設定にする。	48
	近い被写体をズームで撮影している。	ズームを広角にする。	38
ズームが広角側に動かない	シーンモードが [ステージ] になっている。	シーンモードを [ステージ] 以外にする。	46

状況	原因	対処方法・補足	ページ
撮影できない	記録先のドライブが［SD］になっているが、SD カードがはいっていない。	SD カードを入れる。 記録先のドライブを HDD に切り換える。	22 58
	記録先のドライブが［SD］になっているが、SD カードがロック状態になっている。	SD カードのロック状態を解除する。 別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを HDD に切り換える。	14 22 58
	記録先のドライブに空き容量がない。	別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 動画を編集する。 画像を別のドライブ、パソコンや DVD などに移動する。	22 58 95 93 125
	画像が 9,999 に達した。	記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 画像を別のドライブ、パソコンや DVD などに移動する。	58 95 125
	記録先のドライブがフォーマットされていない。	記録先のドライブをフォーマットする。	112
	記録先のドライブが壊れている。	別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 HDD が壊れている場合は、モバイル AV サポートセンターにご相談ください。	22 58 –
	撮影準備中（起動中、記録中）に撮影しようとした。	撮影準備が完了してから撮影する。	–
動画撮影が勝手に停止した	記録先のドライブに空き容量がない。	別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 動画を編集する。 画像を別のドライブ、パソコンや DVD などに移動する。	22 58 95 93 125
	低速の SD カードを使用した。	高速（10MB/s 以上）の SD カードを使用する。	14
	撮影中にカメラに振動を与えた。	カメラに振動を与えないようにする。	–
	HDD 保護機能が働いた。	撮影中にカメラを急激に動かさない。 HDD 保護を［オフ］にする。	110 110

状況	原因	対処方法・補足	ページ
撮影した画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃する。	9
	ピントが合っていない。	被写体との距離にあったフォーカス設定にする。	48
	撮影時に手ぶれした。（静止画）	カメラを正しく構える。 三脚を使って撮影する。 シーンを［スポーツ］に設定する。	32 – 46
	動きの速い被写体を撮影した。（静止画）	シーンを［スポーツ］に設定する。	46
撮影した画像が暗い	被写体の周囲に明るい部分がある。	明るさを＋（プラス）側に設定する。 逆光補正を［オン］に設定する。 測光方式を［スポット］に設定する。	50 51 67
	光量が不足している。	シーンを［夜景］に設定する。	46
	明るさが –（マイナス）側に設定されている。	適切な明るさに設定する。	50
撮影した画像が明るすぎる	被写体の周囲に暗い部分がある。	明るさを –（マイナス）側に設定する。 測光方式を［スポット］に設定する。	50 67
	光量が多すぎる。	シーンを［スノー&ビーチ］に設定する。	46
	明るさが +（プラス）側に設定されている。	適切な明るさに設定する。	50
	逆光補正が設定されている。	逆光補正を［オフ］に設定する。	51
撮影した画像の画質が悪い	高倍率のデジタルズームで撮影した。	デジタルズームを［オフ］に設定する。	66
撮影した画像の色が悪い	ホワイトバランスがずれている。	ホワイトバランスを正しく設定する。 ホワイトバランスの［プリセット］を使用する。	61
連写が途中で止まる	記録先のドライブに空き容量がない。	別の SD カードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 動画を編集する。 画像を別のドライブ、パソコンや DVD などに移動する。	22 58 95 93 125
再生			
静止画が再生できない	パソコンなどでフォルダ名またはファイル名を変更した。	フォルダ名またはファイル名を元に戻す。	127
動画が再生できない	パソコンなどでフォルダ名またはファイル名を変更した。	フォルダ名またはファイル名を元に戻す。	127
	このカメラ以外のカメラで撮影した動画を再生しようとした。	このカメラで撮影した動画を再生する。	–

状況	原因	対処方法・補足	ページ
音声が聞こえない	音量が小さすぎる。	音量を上げる。	40
サムネイル画面が勝手に変更された	動画を編集した。	動画を編集すると、サムネイル画面は残った動画の先頭の画面になります。	93
プロテクトが設定できない	SD カードがロック状態になっている。	SD カードのロック状態を解除する。	14
プロテクトが解除できない	SD カードがロック状態になっている。	SD カードのロック状態を解除する。	14
コピー先のドライブが選べない	コピーする画像の合計サイズがドライブの空き容量より大きい。	コピーする画像を選び直す。 コピー先のドライブを別の SD カードに交換する。 コピー先のドライブの画像を消去する。 コピー先のドライブの動画を編集する。 コピー先のドライブの画像を別のドライブやパソコン、DVD などに移動する。	89 22 95 93 125
	SD カードがロック状態になっている。	SD カードのロック状態を解除する。	14
PictBridge でプリンターに接続できない	プリンターが PictBridge に対応していない。	お使いのプリンターをご確認ください。	–
	USB ケーブルを接続する手順が違う。	正しい手順で接続する。	91
PictBridge の設定枚数が増やせない	合計枚数が 99 枚になっている。	指定できる最大プリント枚数は 99 枚までです。	92
動画を編集できない	静止画を選んだ。	編集する動画を選んでから、メニューにはいる。	93
	画像がプロテクトされている。	プロテクトを解除する。	88
	SD カードがロック状態になっている。	SD カードのロック状態を解除する。	14
消去・セットアップ			
画像を消去できない	画像がプロテクトされている。	プロテクトを解除する。	88
	SD カードがロック状態になっている。	SD カードのロック状態を解除する。	14
アルバムを消去できない	アルバム内にプロテクトされた画像がある。	プロテクトを解除する。	88
	1 画像消去または選択消去のサムネイル表示ですべての画像を消去した。	アルバム内のすべての画像を消去してもアルバムは消去されません。アルバムを消去するには、選択消去のアルバム表示から、消去したいアルバムを選んでください。	98
選択消去でアルバム内を表示できない	アルバムに画像がない。	画像がないアルバムは、選択消去のときにアルバム内を表示できません。	96

状況	原因	対処方法・補足	ページ
画像を消去してもHDDの空き容量が増えない	HDDに連続した空き容量がない。	画像をパソコンに移動し、HDDをフォーマットする。	112 125
SDカードをフォーマットできない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	14
機器接続			
CD-ROMを入れても何も表示されない	–	CD-ROMの中にある「SetupLauncher.exe」をダブルクリックする。	122
パソコンに接続できない	USBケーブルがつながっていない。	USBケーブルをつなげる。	125
	対応していないOSを使用している。	対応しているOSは、Windows® XP/ Windows Vista™ です。お使いのパソコンのOSを確認してください。	121
パソコンのファイルをカメラにコピーできない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	14
	コピーするファイルの合計サイズよりも空き容量が少ない。	コピー先のドライブを別のSDカードに交換する。 コピー先のドライブの画像を消去する。 コピー先の動画を編集する。 コピー先のドライブの画像を別のドライブやパソコン、DVDなどに移動する。	22 95 93 125
パソコンでDVDを作成できない	パソコンのDVDドライブが対応していない。	お使いのパソコンのDVDドライブを確認してください。	–
テレビに接続しても画像が表示されない	AVケーブルがつながっていない。	AVケーブルをつなげる。	118

エラーメッセージ

画面には、次のようなエラーや状態を表すメッセージが表示されることがあります。

表示	意味
カードがありません	SD カードがはいっていない。
空き容量が足りません	指定したドライブに空き容量がない。
画像がありません	指定したドライブまたはアルバムに画像がない。
対象画像がありません	操作に必要な画像がない。
ライトプロテクトカードです	ロック状態の SD カードに書き込もうとした。
プロテクトされています	プロテクトされている動画を編集しようとした。
これ以上撮影できません	アルバム内の画像が 1,000 に達した。
ファイル番号が一杯です	ファイル番号が「9999」に達した。
画像が多すぎます	画像が 9,999 に達した。
編集できない動画です	他社のカメラで撮影した動画を編集しようとした。
このカードは使えません	壊れているカードまたは非対応のカードを使用した。
このカードはフォーマットされていません	フォーマットされていない SD カードを使用した。 NTFS でフォーマットした SD カードを使用した。
PictBridge 対応の機器ではありません	PictBridge に対応していないプリンターに接続した。
プリンターエラー	PictBridge 接続中のプリンターにエラーが発生した。
インクがありません	プリンターにインクがない。
紙がありません	プリンターに用紙がない。
ペーパーエラー	印刷時に紙に関するエラーが発生した。
異常が発生しました USB ケーブルを抜いてください	USB での通信中にエラーが発生した。
記録が中断されました	記録中にメディアへのアクセスが一定時間停止し、記録が中断された。
HDD にアクセスできませんでした	落下を検知して HDD へのアクセスを停止した。
オートモードでは操作できません	この操作はオートモードで無効になっている。

用語

● **Exif（Exchangeable Image File Format ）**
JEITA （電子情報技術産業協会）に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマット。TIFF や JPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができる。

● **JPEG**
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式。圧縮率を選べるが、圧縮率が高いと画質は劣化する。パソコン用のペイントソフトやインターネット上で広く使われている。

● **MPEG**
デジタルの映像・音楽を効率的に転送するための動画圧縮ファイル形式。

● **MPEG-4 AVC/H.264**
ITU(国際電気通信連合) と ISO(国際標準化機構) が策定した動画の符号化方式の一つ。

● **PictBridge（ピクトブリッジ）**
デジタルカメラを直接プリンターに接続して画像を印刷するための通信規格。
PictBridge 対応のプリンターに USB ケーブルを接続して直接印刷を行なうことができる。
デジタルカメラで出力枚数などを指定できるほか、様々な機能が利用できる。

● **逆光補正**
レンズに大量の光がはいることで、被写体が暗くなってしまうことを逆光と言い、この現象を防ぐために行う露出補正のこと。

● **フォーマット**
ハードディスクおよび SD カードの内部を、データを記録するための形にすること（初期化ともいう）。

● **ホワイトバランス（白バランス）**
被写体周辺の照明の色に合わせて、白い被写体が白く見えるように調整する機能をホワイトバランスという。

アフターサービスについて

保証書

保証書はお買い上げいただいたお店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。
「故障かな？と思ったら」➩ 131ページ
それでも調子が悪いときは、裏表紙の「モバイルAVサポートセンター」にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品について

- 当社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは次のことをお知らせください

- 形名 GSC-K80H ／ GSC-K40H
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

さくいん

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

東芝製品の修理サービスはモバイル AV サポートセンターが対応いたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
モバイル AV サポートセンターにお申し付けください。

【ハードディスクカメラに関するお問い合わせ】
使い方、修理、故障、アプリケーションソフトなど
『モバイル AV サポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間：月〜土 10:00 〜 20:00（祝祭日、年末年始等を除く）

インターネットで情報を...
ホームページからサービス・サポートを含む最新情報の発信をしています。
ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。
ホームページ：http://www.gigashot.net/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ
（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社

〒 105-8001 東京都港区芝浦一丁目 1 番 1 号
※住所は変更になることがありますのでご了承ください

K80HMJ-02